

網走市新庁舎建設 基本設計

令和3年9月 網走市

a. 基本設計図書

【 建築（総合） 】

a-1. 施設計画

a-2. 計画概要

a-3. 配置・動線計画

a-4. 平面計画

a-5. 立面計画／外装計画

a-6. 断面計画

a-7. 内装計画

a-8. 市民交流計画

a-9. ユニバーサルデザイン計画

a-10. サイン計画

a-11. 環境配慮計画

a-12. 防災計画

a-13. セキュリティ計画

a-14. レイアウト基準書

【 建築（構造） 】

a-15. 構造計画

【 電気設備 】

a-16. 電気設備計画

【 機械設備 】

a-17. 機械設備計画

【 昇降機設備 】

a-18. 昇降機設備計画

【 外構 】

a-19. 外構計画

b. 概略工事工程表

b-1. 概略工程表

c. 工事費概算書

c-1. 概算工事費

d. 関係法令チェックリスト

d-1. 関係法令チェックリスト

e. 透視図

e-1. 鳥瞰パース

e-2. 外観パース

e-3. 内観パース

f. 基本設計図

f-1. 内外部仕上表・面積表

f-2. 配置図

f-3. ピット平面図

f-4. 1階平面図

f-5. 2階平面図

f-6. 3階平面図

f-7. 4階平面図

f-8. 5階平面図

f-9. 屋上階平面図

f-10. 屋根伏図

f-11. 立面図

f-12. 断面図

a-1. 施設計画（基本構想の基本方針に基づく施設計画）

■基本理念

— 市民に自然にやさしいスマート庁舎 —

網走市の現在の本庁舎は、昭和39年に建設され、築後56年、西庁舎は築後63年が経過しました。
平成25年の耐震改修促進法の改正により、これらの耐震化診断を実施したところ、耐震基準を満たしていないことが判明したことに加え、施設・設備の老朽化、窓口機能の分散、防災拠点機能の維持、バリアフリー化への対応など、さまざまな課題を抱えています。
「網走市新庁舎建設基本構想」に掲げる基本理念「市民に自然にやさしいスマート庁舎」と、その具体的な方向性を示す5つの基本方針に基づき、「網走市新庁舎建設基本設計」を作成しました。

■施設計画

基本方針1 人にやさしく市民に親しまれる庁舎

あらゆる人が利用しやすい窓口や交流・相談の場を設ける庁舎とします。

- ◆窓口機能の集約 ◆わかりやすいフロア構成 ◆プライバシーに配慮した窓口
- ◆総合案内の配置 ◆みんなのトイレの設置 ◆おもいやり駐車場の設置

基本方針2 防災拠点となる庁舎

耐震性を確保した災害に強い安全・安心な庁舎とします。

- ◆耐震安全性の確保 ◆災害対策本部機能の確保 ◆一時避難スペースの確保
- ◆業務継続機能の確保 ◆重要設備を上層階に設置

基本方針3 環境にやさしい庁舎

省エネルギー・再生可能エネルギーなどの推進や建設費から維持費までの生涯費用を低減させる庁舎とします。

- ◆ZEB Ready庁舎の実現 ◆未利用エネルギー・再生可能エネルギーの活用
- ◆熱負荷を低減する建物外装 ◆高効率な設備システム ◆効率的な運用管理

基本方針4 まちづくりの拠点にふさわしい庁舎

地域の核となり、周辺の市街地形成や都市整備と一体となったまちづくりに寄与する庁舎とします。

- ◆人と人をつなぐ市民ホール ◆まちと人をつなぐキャンピー ◆活動と発信の窓

基本方針5 効率的で情報化に対応できる庁舎

ICT等を有効活用し、市民サービスの向上と事務の効率化を図り、高度なセキュリティ機能を有する庁舎とします。

- ◆ICTを活用した窓口 ◆デジタルサイネージの設置 ◆Free Wi-Fiの設置
- ◆セキュリティライン等の確保



鳥瞰パース

a-3. 配置・動線計画

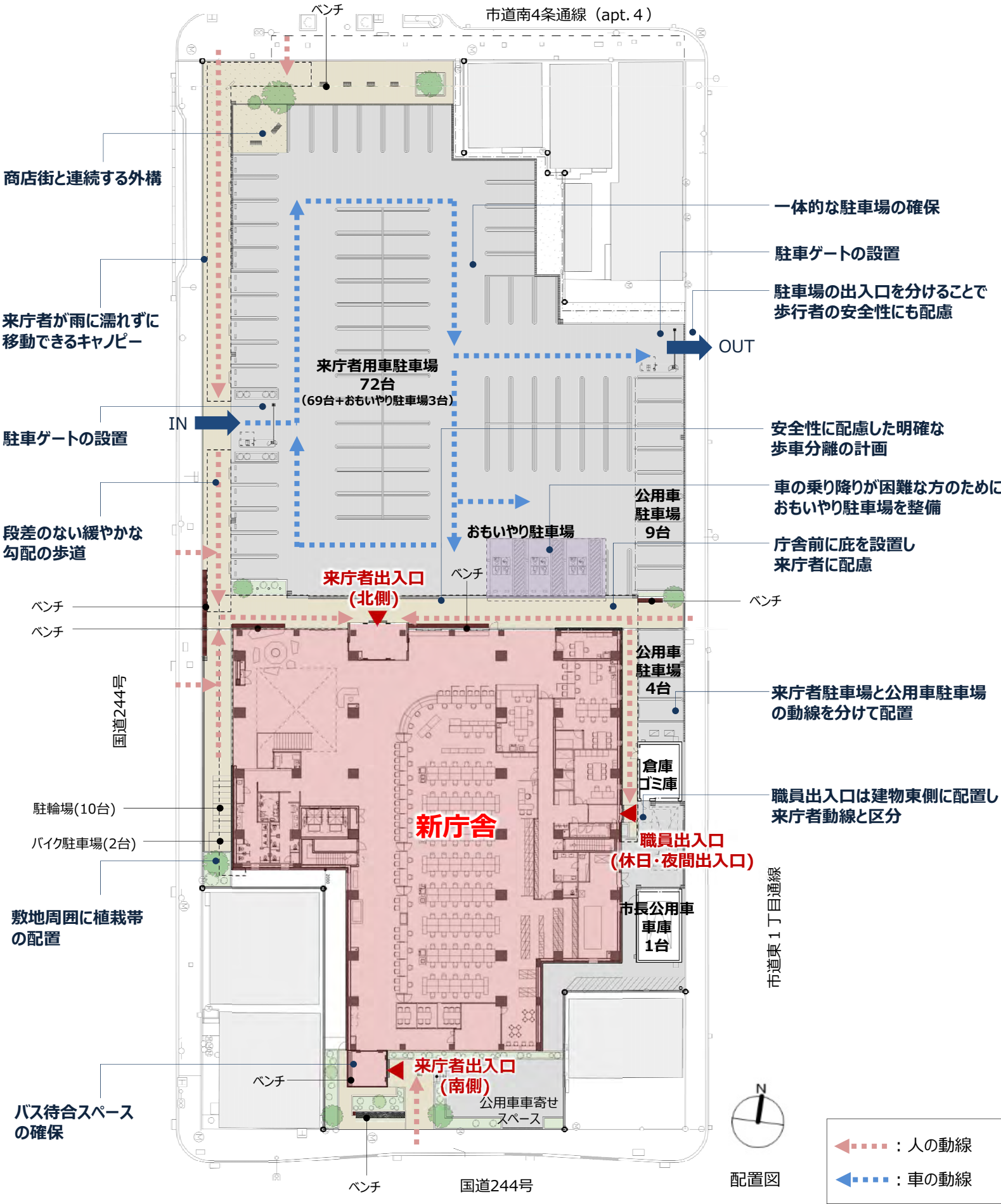
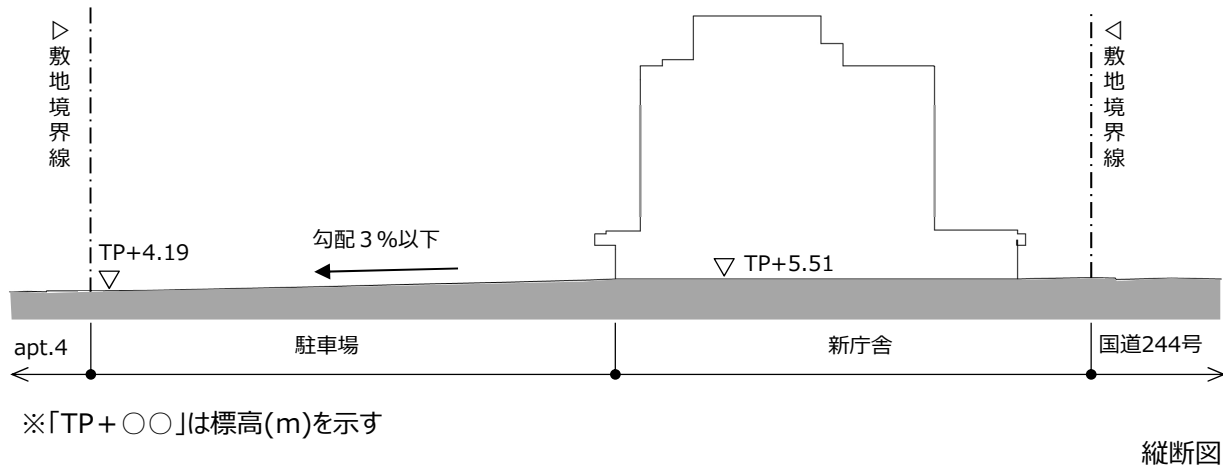
■配置計画

- ・新庁舎は敷地南側に配置します。
- ・駐車場は、敷地北側に配置します。
- ・北側出入口に近接して屋根付きの「おもいやり駐車場」※を配置します。
- ・駐車場出入口にはゲートを設置します。
- ・庁舎への出入口は北側と南側に配置します。
- ・職員用出入口は、東側に配置します。
- ・駐車場の西側には、来庁者が安全に庁舎にアクセスできるキャノピー（庇）を設置します。
- ・バス利用者のための待合スペースを、敷地南側に配置します。
- ・歩行者が敷地内へアクセスする箇所に、植栽帯やベンチを配置します。
- ・北側・南側・東側の出入口の歩道、おもいやり駐車場には、ロードヒーティングを設置します。
- ・駐輪場は、庁舎の西側に配置します。

※「おもいやり駐車場」とは高齢者の方、障がいを持つ方、怪我をしている方、妊娠をしている方など、車の乗り降りが困難な方のために、広い幅を確保した駐車スペースです。

■動線計画

- ・北側・南側の出入口は、まっすぐに通り抜けられる動線とします。
- ・職員用出入口は、東側に配置し、市民と交錯しない動線とします。
- ・北側駐車場に車寄せを配置し、建物の底下を通ることで雨に濡れずに、庁舎へアクセスできる動線とします。
- ・駐車場西側にキャノピーを設けることで、来庁者の方が雨に濡れずに、建物に入れる動線とします。
- ・駐車場の出入口は、西側が入口、東側が出口と明確に分けることで交通車両や歩行者の安全に配慮した動線とします。



a-4. 平面計画

■ 3階

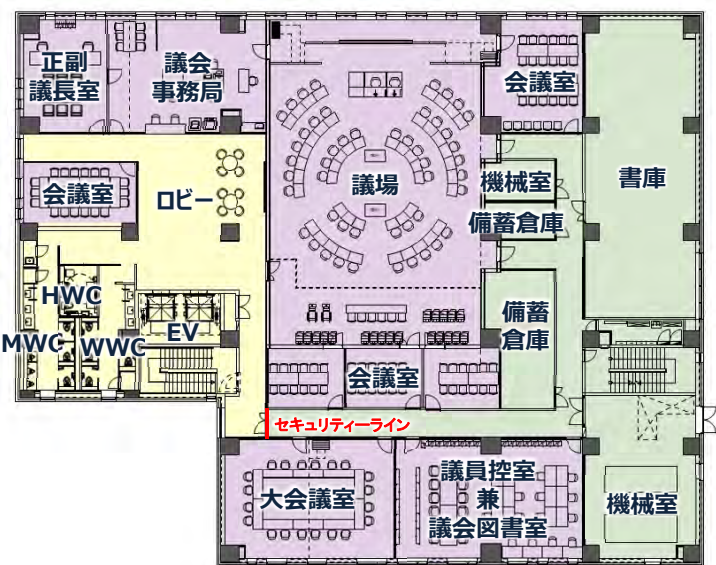
- 選挙管理委員会を配置し、選挙時は大会議室を期日前投票所として活用します。
- 職員用の健康相談室、休養室を配置します。



3階平面図

■ 5階

- 議会関連諸室を集約して配置します。
- 議場は災害発生時の一時避難スペースとして活用します。
- 傍聴席には、車いす用の傍聴スペースを設けます。
- ロビーには、議会中継を視聴できるモニターを設置します。



5階平面図

■ 4階

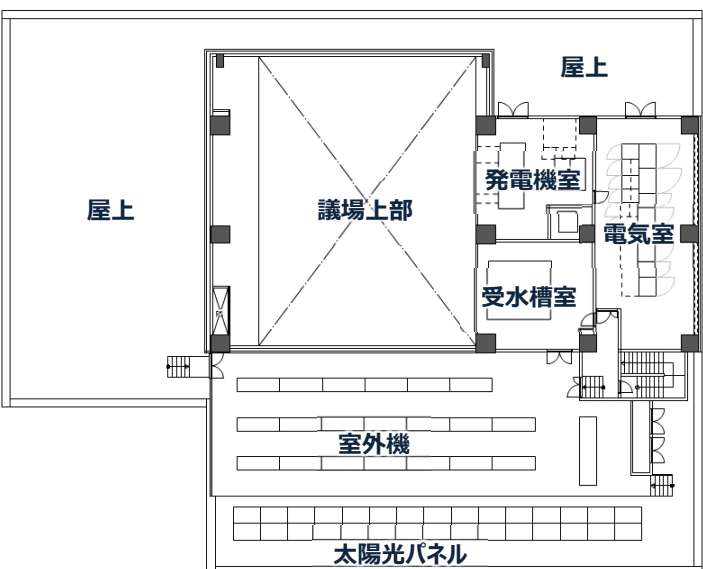
- 市長室、副市長室を配置します。
- 市長室等に隣接して大会議室を配置し、災害発生時は災害対策本部として活用します。
- 来庁者を迎え入れる応接室と待合スペースを配置します。



4階平面図

■ 屋上

- 太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを活用します。
- 非常用発電機を設置し、非常時に備えます。



屋上平面図



※平面図の「EV」はエレベーター、「MWC」は男性トイレ、「WWC」は女性トイレ、「HWC」はみんなのトイレを示す。

a-5. 立面計画／外装計画

■ 市民が集う「開かれた庁舎」

- 1階に張り出した大きな庇は、内外の空間を一体化させ、「庁舎」と「まち」をつなぎ、市民を迎え入れます。
また、明るく開放的なガラスを用いることで、庁舎内での活動が外から感じられ、「開かれた庁舎」を演出します。
- 2階以上は、庁舎内の様子が感じられる窓構成にすることで、圧迫感を軽減させ、「開かれた庁舎」のイメージを高めます。

■ 高い断熱性能による「環境にやさしい庁舎」

- 外装は、断熱材で躯体を外側から包む外断熱工法を採用し、熱負荷の低減を図ります。
- 窓は、高断熱サッシおよび複層ガラスを採用し、建物の環境性能向上と快適性を両立させます。
- 執務室の窓は、自然通風、自然換気ができるよう南北面に効果的に配置します。

■ 将来の負担を軽減する「長寿命な庁舎」

- 屋根は無落雪タイプのシンプルな形状とします。
- 外装材は耐久性が高く、維持管理が容易な材料を選定し、将来のメンテナンス費用を抑えます。



北側立面図



南側立面図



西側立面図



東側立面図

a-6. 断面計画

■ 利用しやすくわかりやすいフロア構成

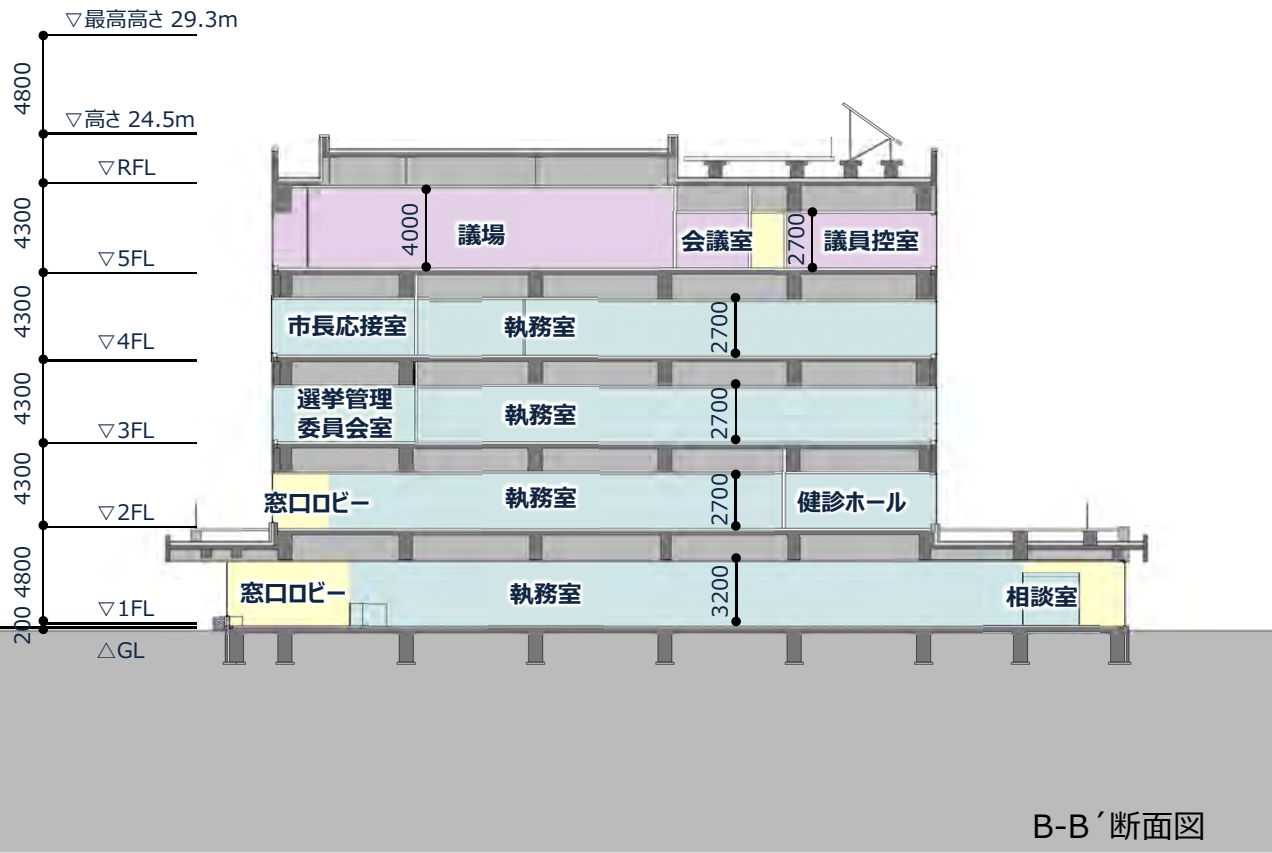
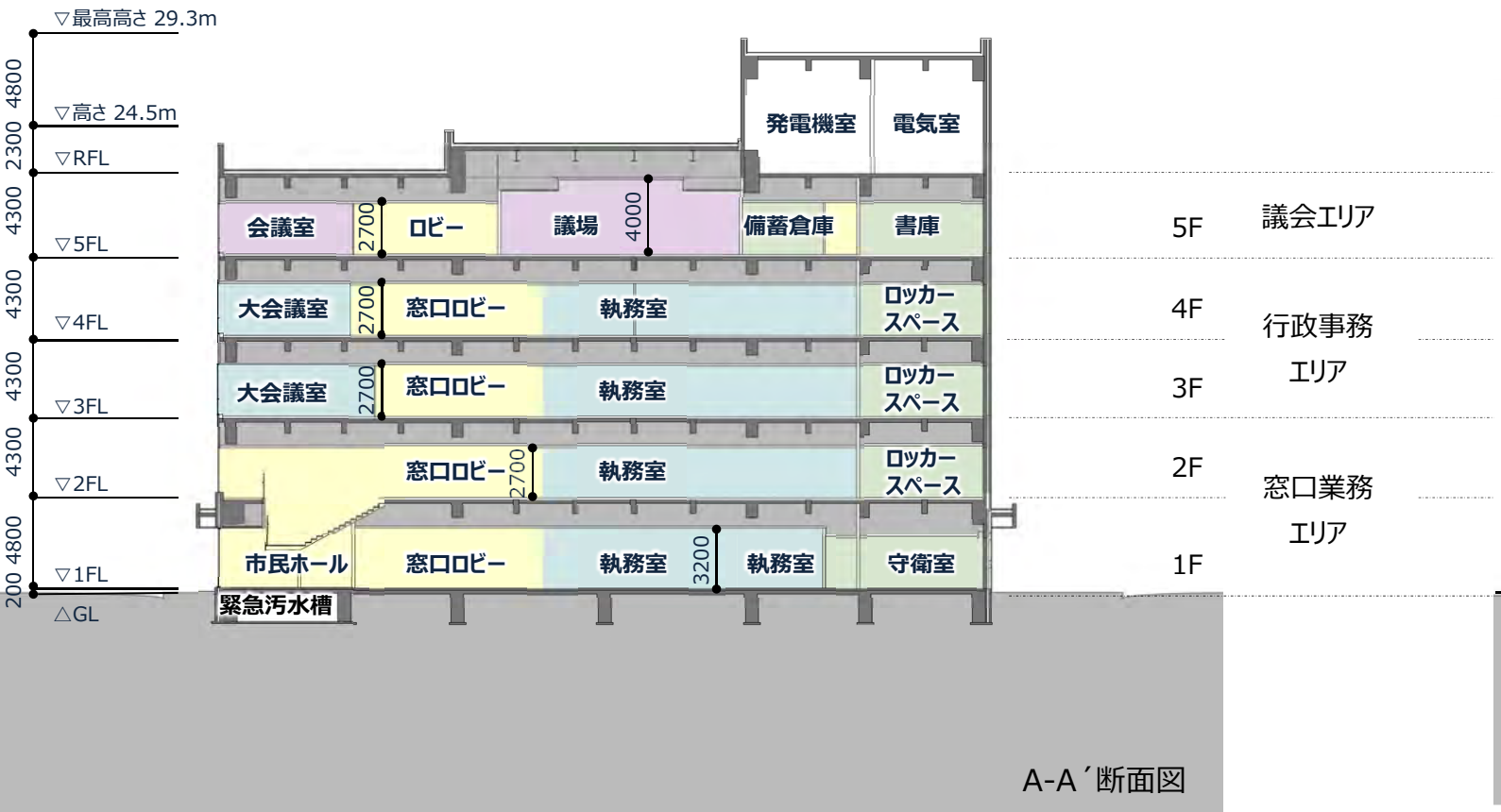
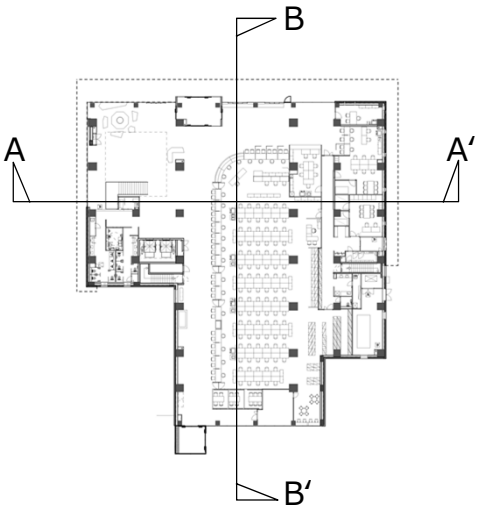
- 1,2階は窓口業務エリア、3,4階は行政事務エリア、5階は議会エリアとし、機能的でわかりやすいフロア構成とします。
- 市民ホールの吹抜け部分に幅の広い階段を設け、1,2階の窓口業務エリアの空間を一体化することで、わかりやすい窓口が感じられる計画とします。

■ 市民の安全・安心

- 想定外の浸水を想定し、1階が浸水した場合でも2階以上で執務機能を維持するため、電気設備系統を1階と2階以上で区分し、電気室は屋上階に配置します。
- サーバー室や防災無線等の重要設備は、浸水の恐れがない4階に設置します。
- 建物の出入口には全て庇を設け、落雪による事故を防止します。
- 建物内は段差がない計画とします。

■ 機能的で将来の変化に対応できる断面計画

- 構造、設備計画、法的条件を総合的に計画し、窓口の視認性や空間の快適性が確保できる階高設定とします。
- 一時避難スペースともなる議場は、圧迫感のない天井高さを無駄なく確保できる最上階に配置します。
- 執務室は、組織体制や職員数の減少など将来の変化に柔軟に対応できるようO Aフロアとします。



a-7. 内装計画

■ 基本的な考え方

- 市民利用の多い場所に網走産木材を部分的に使用するなど、親しみを感じられる仕上げとします。
- 多くの市民が利用する施設として、耐久性や維持管理に配慮した材料を選定します。

床

- 人の往来が多い1階床は、耐水性・耐摩耗性に優れた材料とし、水濡れ時も滑りにくい加工とします。
- 執務室は、吸音性に優れ更新しやすく、将来のレイアウト変更にも対応しやすいタイルカーペットとします。
- トイレや倉庫等は、清掃しやすいビニル系の材料とします。

壁

- 安全で補修がしやすい、水性の塗装仕上げを基本とします。
- 廊下や階段などの搬入動線となる部分には、キックプレートを設置するなどの壁を保護する計画とします。

天井

- 吸音性能のある岩綿吸音板を基本とします。

主要内装仕上表

階	室名	床	壁	天井
5階	議場	タイルカーペット	網走産木材	網走産木材
4階	執務室	タイルカーペット	石膏ボード + 塗装	岩綿吸音板
3階	執務室	タイルカーペット	石膏ボード + 塗装	岩綿吸音板
2階	執務室	タイルカーペット	石膏ボード + 塗装	岩綿吸音板
	健診ホール	タイルカーペット	石膏ボード + 塗装	岩綿吸音板
1階	市民ホール	花崗岩	網走産木材	木質系ルーバー
	執務室	タイルカーペット	石膏ボード + 塗装	木質系ルーバー
共通	ロビー(2～4階)	置敷ビニル床タイル	石膏ボード + 塗装	岩綿吸音板
	トイレ	ビニル床シート	耐水ビニルクロス	岩綿吸音板



1F窓口・市民ホール

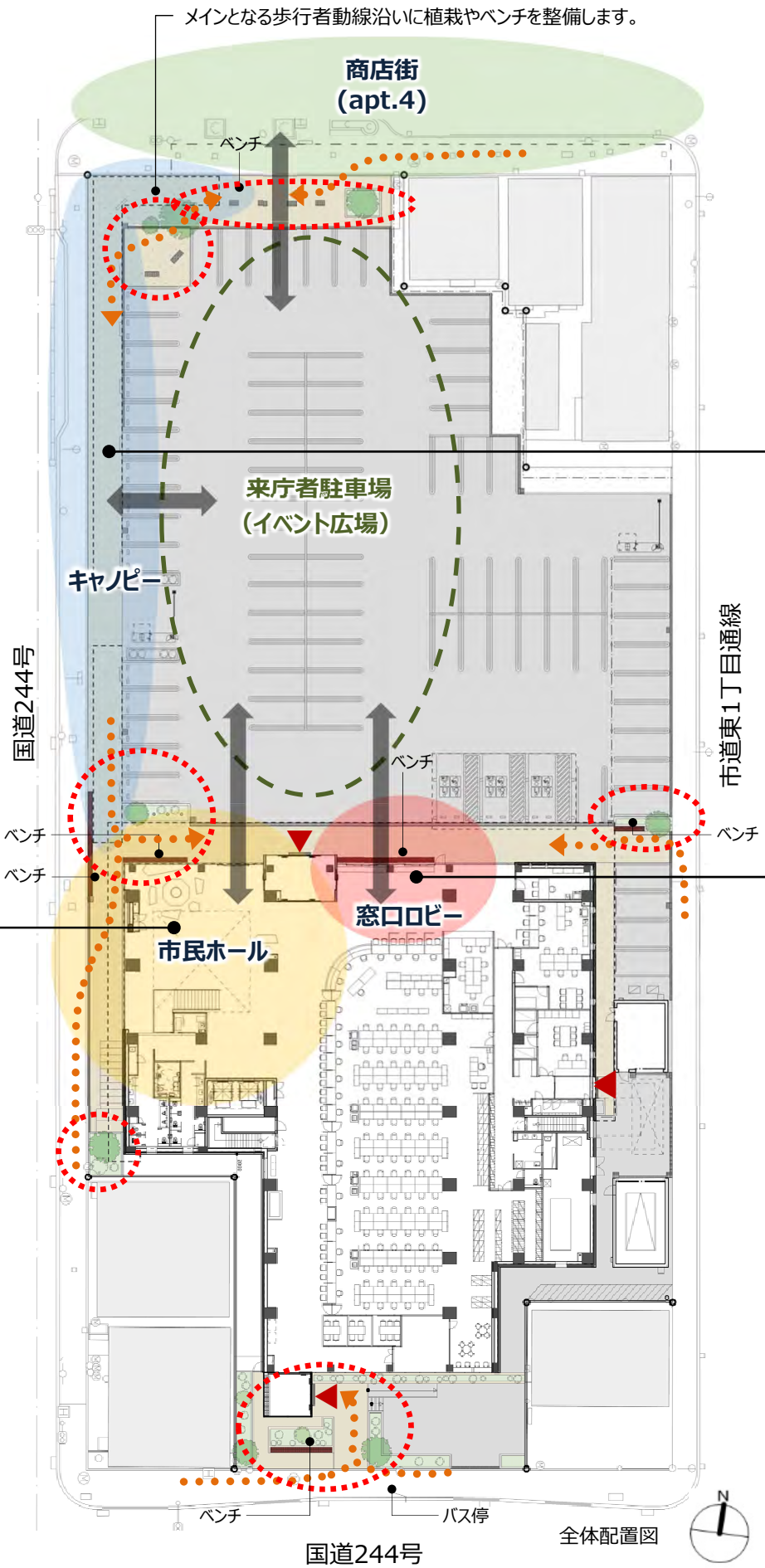
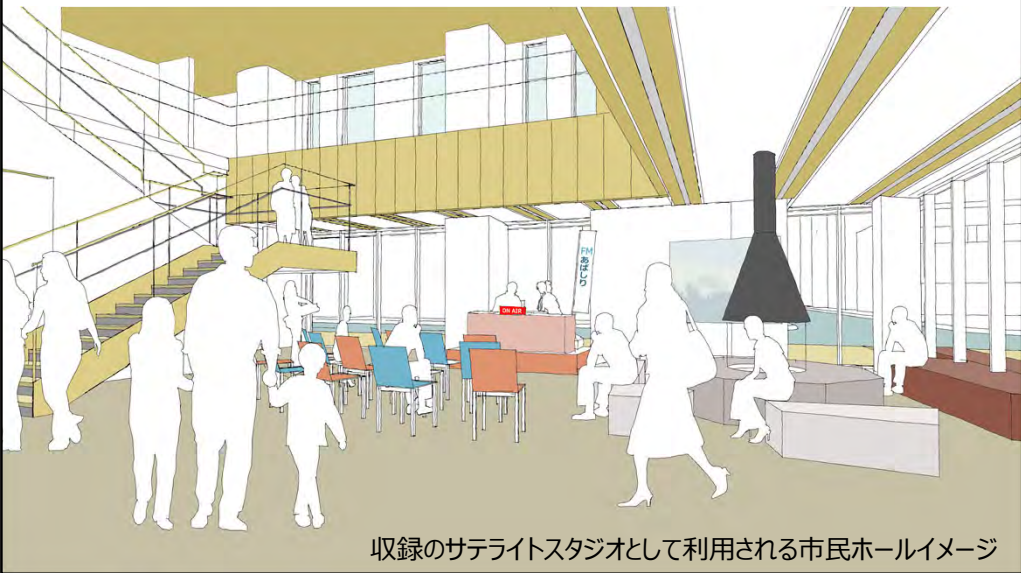
a-8. 市民交流計画

■ 基本的な考え方

- 市民ホール、屋上テラスは市民に親しまれる憩いの空間として活用します。
- 市民ホール、駐車場は各種イベント開催に活用できる計画とします。
- 市民ホールには、市民が使えるFree Wi-Fiを設置します。
- 敷地北側の駐車場を中心に、その周りを商店街、キャンピー、市民ホール、窓口ロビーが取り囲み、一体的な利用が可能な計画とします。
- 敷地の各所には植栽帯とベンチを設け、景観への配慮と歩行者ネットワークに寄与する計画とします。

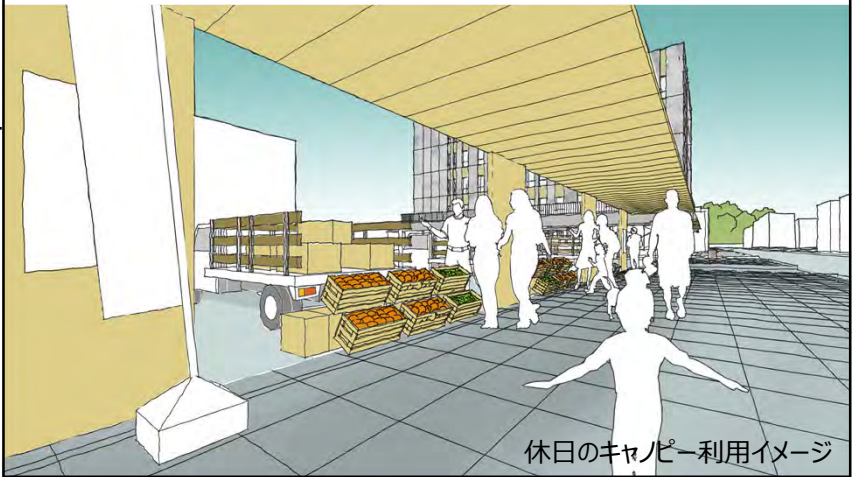
人と人をつなぐ市民ホール

- 多彩な市民活動が可能な交流スペースを設置します。
- 市政情報の発信だけでなく、展示会やイベントなどの市民活動をまちに発信します。
- イベント時には内外の一体的な利用が可能で、繁忙期は待合スペースとしても機能します。



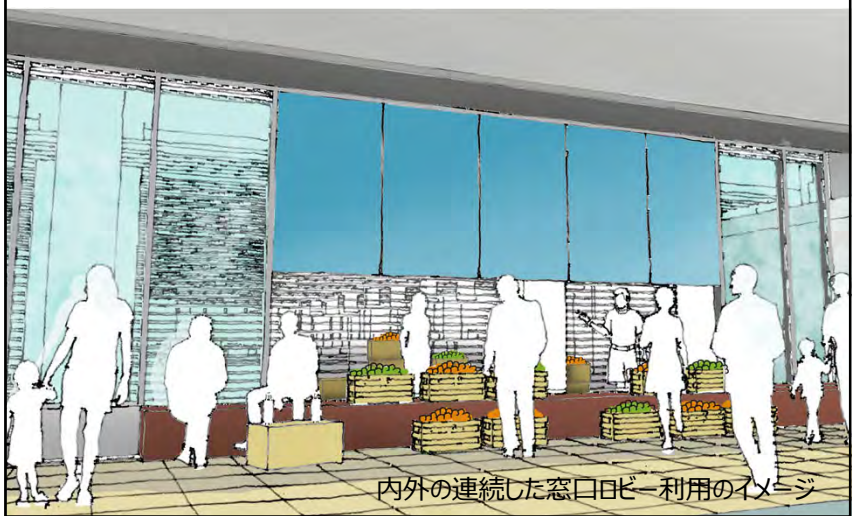
まちと人をつなぐキャンピー

- キャンピーによる新しい歩行者ネットワークを構築します。
- キャンピーの構造体を利用し、市政・周辺施設・観光情報など網走市の情報を発信します。
- イベントの際には出店スペースの利用や、週末はキャンピー下で朝市が開催でき、人とまちをつなぐことに寄与することを目指します。



活動と発信の窓

- 窓口ロビーとしての機能だけでなく、内外にベンチを設置することで談笑や休憩の場としても利用できます。
- ベンチ上部の窓を開けることで、駐車場からの連続した利用が可能です。
- イベント時は暖簾を吊るし、本部窓口・出店スペースなどの利用ができます。



a-9. ユニバーサルデザイン計画

■ 基本的な考え方

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「北海道福祉のまちづくり条例」における整備基準に基づき、あらゆる人にとって使いやすく、わかりやすい庁舎とします。

① 駐車場・歩道・キャノピー

- 「おもいやり駐車場」は幅員を3.5m以上確保し、駐車台数総数の1/50以上の3台を確保します。
- 「おもいやり駐車場」は出入口に近い場所に設け、屋根付きとすることで、雨天・降雪時の乗降りにも配慮します。
- 歩道を整備し、歩車分離を図り、段差のない歩道とすることで安全に配慮します。
- 敷地西側にキャノピーを整備し、雨天・降雪時でも建物にアプローチしやすい計画とします。
- 外部は3%勾配以内の計画とし、あらゆる方の利用に安全な計画とします。
- 歩道の一部にロードヒーティングを設置します。

② 庁舎出入口

- 雨があたらないよう、建物前面には庇を設置するほか、敷地内の高低差を緩やかなスロープ状とし、段差が生じない出入口とします。
- 風除室を南北に設置し、まっすぐに通り抜けられる動線とし、わかりやすい出入口計画とします。

③ 通路・動線

- 床は滑りにくく歩きやすい仕上げとします。
- 車いすやベビーカーが通りやすい、ゆとりのある通路幅を確保します。
- 総合案内まで視覚障がい者用点字ブロックを敷設します。
- 庁舎内は段差のない空間とします。(階段除く)

④ 総合案内・窓口

- 北側出入口の近くに総合案内を設けます。
- 窓口は通路と平行に設置し、わかりやすい計画とします。
- デジタルサイネージを用いて、あらゆる人にとって施設配置がわかりやすい案内表示板を設置します。

⑤ エレベーター・階段

- エレベーターは、車いすと同行者が同時に乗ることのできるゆとりのある広さを確保します。
- エレベーター内には両側手すりを設け、腰を掛けられるベンチを設置します。
- 階段は、緩やかな勾配とし、両側に手すりを設けるほか点字による階数表示をします。

⑥ 授乳室・キッズスペース

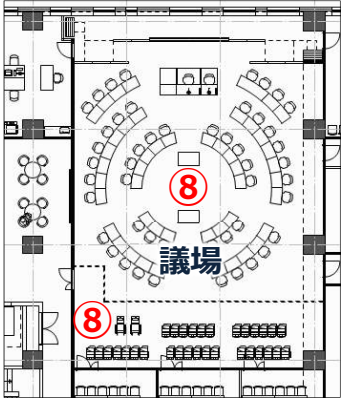
- 子育て世代が利用しやすいよう、授乳室を1階と2階に設置します。
- 子育て支援課窓口近辺にベビーベッド・キッズコーナーを設置し、乳幼児連れの方に配慮します。

⑦ トイレ

- 各階には、オストメイト対応や車いす利用者などが利用しやすい「みんなのトイレ」を設置します。
- 男女別トイレの各ブースに手すりを設置し、様々な方の利便性に配慮します。
- 「みんなのトイレ」は階ごとに反転レイアウトとすることで、右利き・左利き利用者双方に配慮します。

⑧ 議場

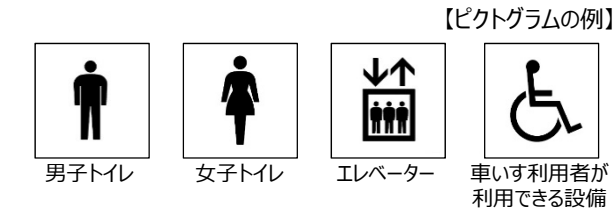
- 議場は段差のない計画とします。
- 傍聴席には車いす利用者専用のゆとりのあるスペースを確保します。
- 傍聴用のイヤホン設備を設置します。



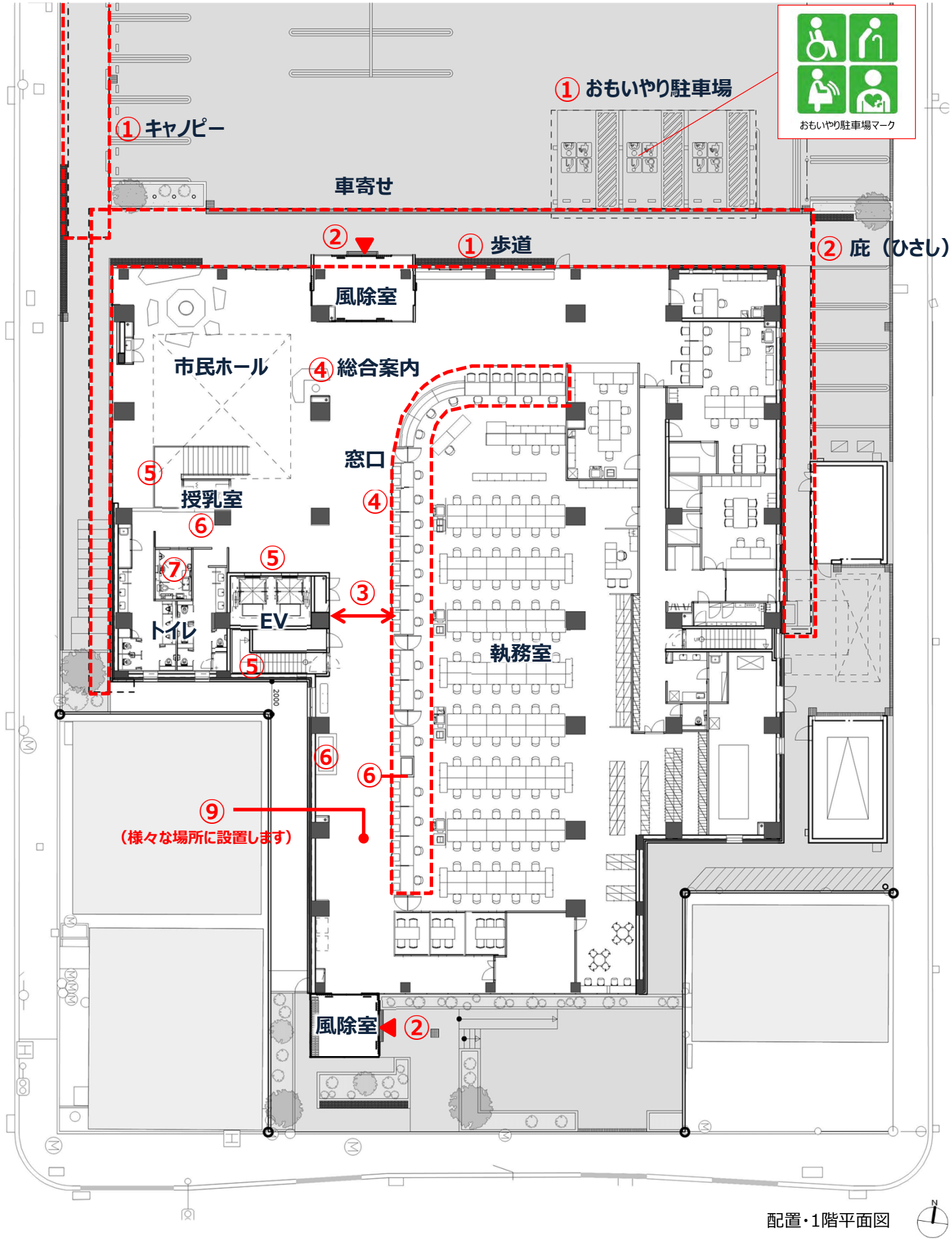
5階議場平面図

⑨ サイン

- 庁舎内は視覚的な図で表現したピクトグラムを使用するとともにカラーユニバーサルデザイン※を採用し、誰でもわかりやすいサインを設置します。
- 音声案内や避難誘導灯を設置し、障がいのある方にも配慮した案内・誘導計画とします。



※カラーユニバーサルデザインとは、一般の人と見え方が異なる人にも情報が伝わるよう色使いに配慮したサインデザインです。



配置・1階平面図

a-10. サイン計画

■ 基本的な考え方

・カラーユニバーサルデザインに基づき、色覚の個人差を問わず、あらゆる方への使いやすさ、分かりやすさ、業務効率の向上を具現化することを目的とし、サイン計画を行います。

1. 直感的に伝わるサイン

- ・目的語表記（来庁者の直接の目的をサインに表示すること）とし、来庁者目線でわかりやすいサイン表記とします。
- ・取り扱い業務の違いを「色」を用いてゾーニングし、直観的に見つけやすい窓口とします。
- ・視覚的な図で表現したピクトグラムを使用し、誰でもわかりやすいサインを設置します。



見分けやすい配色のイメージ



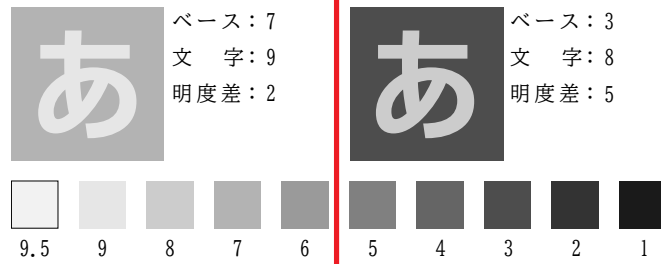
ピクトグラム
例) トイレ手摺の利き手表示イメージ

2. 誰にでも見やすいサイン

- ・サインを設置する位置は、立っている人や車いすの方、誰からも見やすい位置に設置します。
- ・設置場所や建築空間によって、最適な形状を割り出して設置します。
- ・文字を明確に認識できるよう背景との明度差を考慮した表示とします。



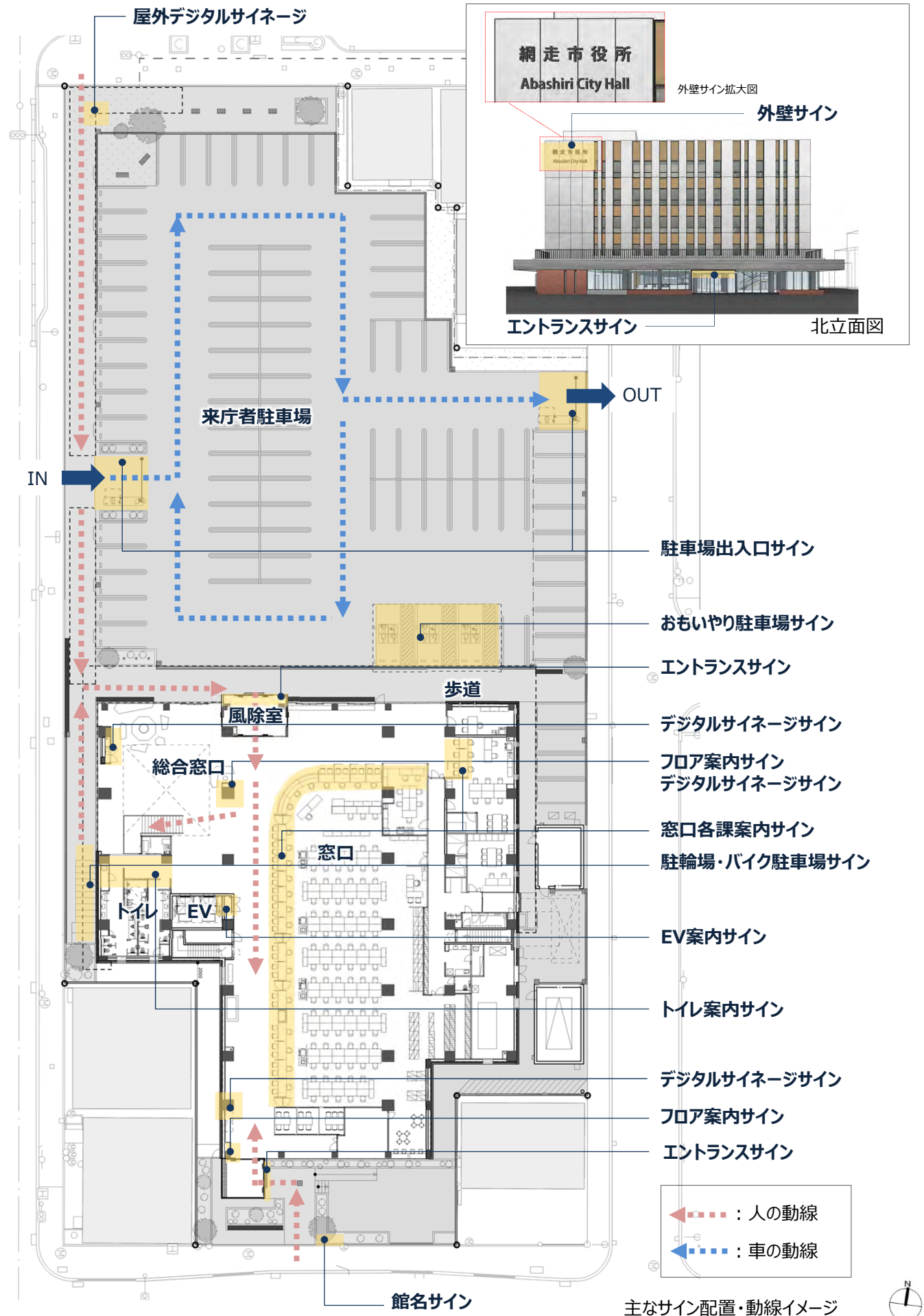
主なサイン形状イメージ



見やすい明度差の確保イメージ

3. 建物・内装と調和したサイン

- ・全体の統一感を図るとともに、網走市へ親近感を持っていただく空間づくりの要素として、デザインモチーフをサインに取り込み展開します。



主なサイン配置・動線イメージ

a-11. 環境配慮計画

■ 基本的な考え方

- 建物外装の高断熱化による熱負荷の低減や高効率な設備システムの導入、自然エネルギーの活用により、建物の一次エネルギー消費量を、標準庁舎と比較して約50%削減するZEB Ready※庁舎を目指します。

■ 熱負荷を低減する建物外装

- 外壁および屋上は外断熱工法とし、高い断熱性能とコンクリート躯体の蓄熱効果によって、熱負荷の低減による冷暖房エネルギー抑制と、安定した室内温度を実現します。
- 寒暖差によるコンクリート躯体の収縮を抑えることにより、建物の長寿命化を実現します。
- 窓には高断熱サッシおよび複層ガラスを採用し、建物全体の断熱性能を向上させます。

■ 高効率な設備システム

- エネルギー効率の高い空調熱源の採用や、換気による熱損失を回収する全熱交換機等の導入による熱負荷の低減により、空調・換気エネルギー消費量を抑制します。
- LED照明の導入、自然光の明るさ感知による昼光利用制御、タイムスケジュール制御や人感検知による不用な点灯防止により、照明エネルギー消費量を抑制します。

■ 未利用エネルギー・再生可能エネルギーの活用

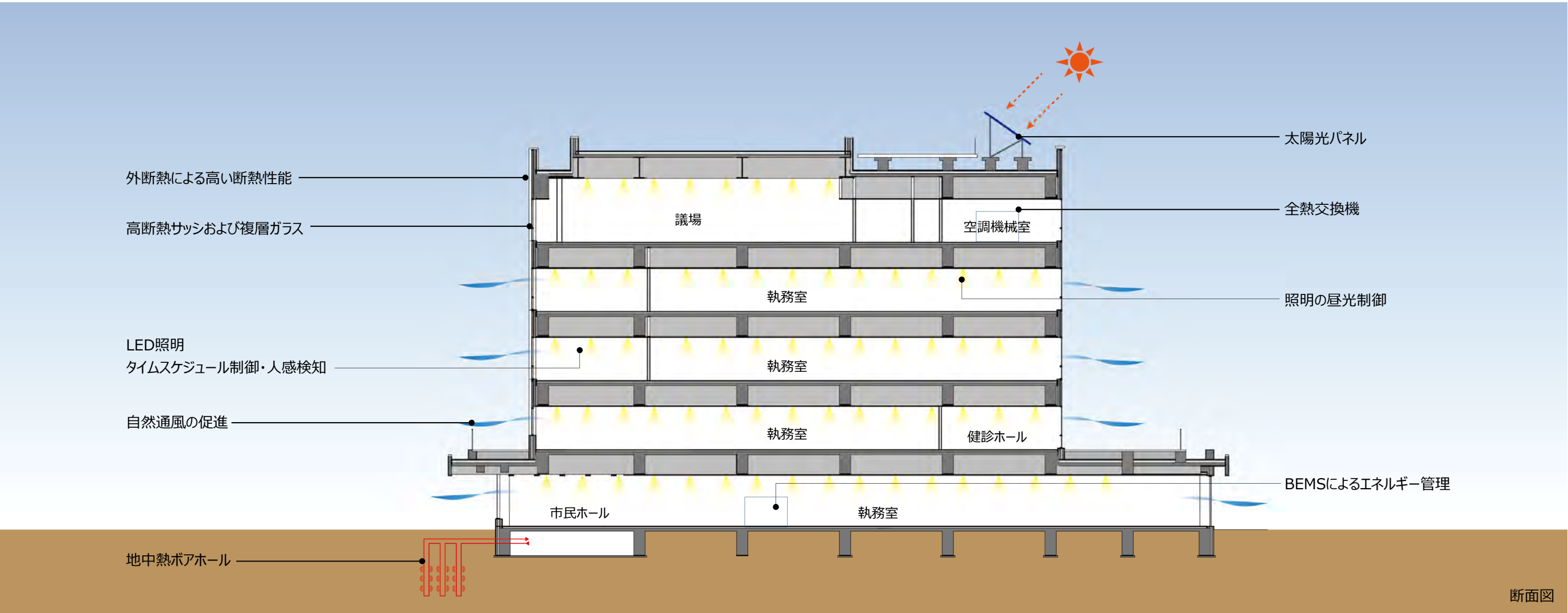
- ZEB Ready庁舎を目指すために、安定した地中熱を冷暖房に活用する地中熱ヒートポンプを導入します。
- 太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーを活用します。

■ 建物性能を引き出す効率的な運用管理

- エネルギー消費量を計測できるBEMS※を設置し、庁舎の運営・維持にかかるエネルギーの無駄を削減し、最適な運用管理を可能にします。
- エネルギーの利用状況の見える化（可視化）により、「環境への配慮」意識の醸成を図ります。

※ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。その中で、「ZEB Ready」は一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物のこと。

※BEMS（ビルディング・エネルギー・マネジメント・システム）とは、センサーやIT技術を駆使して電力使用量の見える化を行うことで節電の実現や、機器の制御を行って効率的なエネルギーの管理・制御を行うためのシステムのこと。



a-12. 防災計画

■ 基本的な考え方

- 災害時には庁舎内に災害対策本部を設置し、情報の迅速な収集や発信、関係機関との連携、救援・復旧活動の指揮を担う防災拠点として、また、業務を継続して行うための施設整備を行います。

■ 災害対策本部の整備

- 4階大会議室を災害対策本部として、災害時も電源、照明、コンセント、空調、換気機能を確保できるよう整備します。
- 市長室、副市長室と近接して設置し、災害活動の指揮、関係機関との連携ができる配置とします。

■ 業務継続計画（BCP）に求められる施設整備

- 災害対策本部機能を含めた業務継続が72時間可能な、非常用電源設備や給排水設備を整備します。
- 電気室や受水槽等は、浸水等の影響が生じない屋上に配置します。
- サーバー室は4階に設置した上で免震対策を行い、通信の途絶を回避して情報発信、関係機関との連携を確保します。

「リスク想定と対策」

リスクの種類	想定リスク	想定被害	対策
地震	施設破壊	建物構造体の破損 建物非構造部材の破損、落下等 設備倒壊、破損 エレベーターの停止	構造体の耐震安全性Ⅰ類 非構造部材の耐震安全性A類 建築設備の耐震安全性甲類 エレベーターへの非常用電源供給
	停電	停電による業務停止 設備機器停止	非常用発電機の設置 燃料備蓄（72時間）
	通信途絶	庁内サーバーの機能停止	衛星電話の配備 通信機器への非常用電源供給 サーバー室装置類の免震対策
	断水	飲料水、雑用水の使用制限	受水槽による備蓄（72時間、160人分） ペットボトルによる飲料水備蓄
	下水停止	トイレ使用制限	緊急汚水槽の設置（72時間）
津波 河川氾濫	浸水	建物内浸水	止水板の設置 1,2階の電気設備系統区分 重要設備類の上層階設置

■ 一時避難スペースの確保

- 想定外の規模の災害が発生した際、5階議場・会議室に一時避難できる計画とし、照明、コンセント、空調、換気機能を確保します。
- 災害時に円滑に避難できるよう、停電時もエレベーターが利用できる計画とします。
- 市民が円滑に庁舎内に避難できるよう、自動扉を遠隔操作で開放できる計画とします。

議場・会議室

- 一時避難スペースとする
- 照明、コンセント、空調、換気をバックアップ

大会議室・市長室・副市長室等

- 災害対策本部機能とする
- 関係機関との連携
- 照明、コンセント、空調、換気をバックアップ

サーバー室

- 災害時にもシステムが停止しないよう計画する
- サーバー機器類は免震対策とする
- 電源、照明、空調をバックアップ

トイレ

- 断水時も利用可能とする
- 照明、給排水をバックアップ

エレベーター（EV）

- 一時避難や災害対策用に利用可能とする
- 停電時運転をバックアップ

執務室

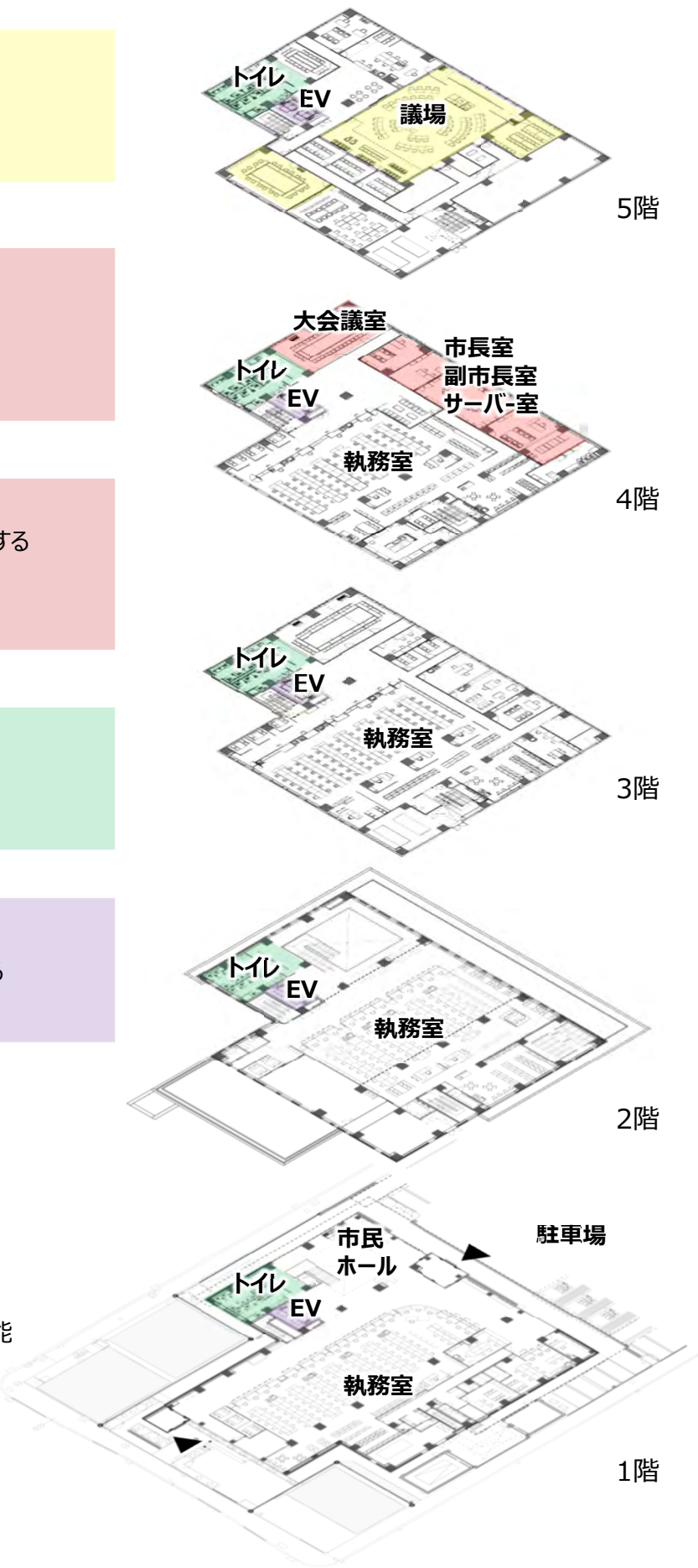
- 災害時に一部利用可能
- 照明・コンセントの一部をバックアップ

市民ホール

- 一時避難、災害時の情報提供に使用可能
- 照明、コンセントの一部をバックアップ

駐車場

- 支援活動、支援物資受け入れに使用
- 照明の一部をバックアップ



a-12. 防災計画

■BCP（事業継続計画）対策一覧

災害想定 設備		A	B	C	D
		断水	停電	大規模地震	大規模水害 (水害レベル：50~60cm)
1	給水設備	・ 雑用水は受水槽貯留水を利用する。 ・ 飲料水はペットボトルで対応する。 ・ 受水槽容量（20m3）で3日分の水量を確保。 （160人×30L/日×3日＝14.4m3）	・ 該当なし ・ 加圧給水ポンプは発電機回路にすることで通常使用可能。	・ 配管、機器等に損傷がない限り使用継続可能。 ※配管は建築設備耐震安全性甲類に準じて設置。 ・ 感震器で地震を感知し、緊急遮断弁にて受水槽出口を閉鎖し、配管等の破損が無いことを確認後に復旧する。 ・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ 受水槽（高置水槽）を 屋上階に設置する事により水害時における雑用水を確保。
2	一般排水設備	・ 該当なし	・ 発電機回路にすることで通常使用可能。	・ 公共下水道が寸断されていない限り使用可能。 ・ 公共下水道が寸断された場合は、緊急汚水槽に排水系統を切替えて対応（切替えは手動）。 ・ 放流又は汚水等の搬出が可能となるまでの日数は3日とし、緊急汚水槽を設置。 （160人×30L/日×3日＝14.4m3）	・ 公共下水道及び緊急汚水槽が水没している場合は使用不可となり、ポータブルトイレ等での対応とする。
3	給湯設備	・ 受水槽に残っている水量は使用継続可能。 ・ 受水槽枯渇時は、ペットボトル+電気ポット等の使用を想定。	・ 発電機回路供給の非常用コンセントによる電気ポット等で対応する。 ・ 手洗いの電気温水器は使用不可。	・ 配管、機器等に損傷がない限り使用継続可能。 ・ 機器が破損した場合は、電気ポット等で対応する。 ・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ 建物への浸水を防御することで継続利用可能。
4	空調設備	・ 機器の運転は可能。 ・ 加湿用水槽に貯水されている範囲で加湿運転可能。	・ 運転継続が必要な系統は発電機回路による個別エアコン（電気式）での対応とし、対象エリアは、災害対策本部、サーバー室、一時避難スペースとする。 ・ 発電機回路供給の非常用コンセントによる対応は可能（扇風機、ヒーターなど）。	・ 配管、機器等に損傷がない限り使用継続可能。 ・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ 建物への浸水を防御することで継続利用可能。
5	電気設備（電力）	・ 該当なし	・ 停電時は非常用発電機により約50%の負荷に電力供給を行う。 ・ 非常用発電機の燃料備蓄量は72時間分を確保する。	・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ 電気室及び非常用発電機室を屋上に設置することにより、電力供給を維持する。 ・ オイルポンプは油中ポンプを採用する為、浸水の影響無し。
6	電気設備（通信・防災）	・ 該当なし	・ LAN、IPフォン、テレビ、消防設備、防災無線等の通信機器は発電機回路にすることで通信可能。	・ 有線通信インフラが途絶、輻輳で通信できない場合は、ポータブル衛星電話（備品対応）、各社携帯電話等の無線通信により電子メール、データ送受信を行う。 ・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ サーバー等の通信機器装置は4階に設置する。 ・ 水害に伴い停電となる場合は、同左とする。
7	昇降機設備	・ 該当なし	・ 発電機回路にすることで2台とも利用可能。	・ 地震時は最寄階に着床。 ・ 保守管理者により再起動可能。 （メンテナンス契約により自動復旧運転可能） ・ 電力インフラが途絶、停電時の場合は、同左とする。	・ 建物への浸水を防御することで継続利用可能。 ・ 水害に伴い停電となる場合は、同左とする。

a-13. セキュリティ計画

■ 1階～3階

凡例

レベル5：重要エリア（サーバー室、書庫等）

レベル4：限定エリア（市長室、副市長室、議場等）

レベル3：職員・共用エリア（執務室、共創スペース、廊下等）

レベル2：来庁者・共用エリア（会議室、相談室等）

レベル1：市民利用エリア（ロビー、トイレ等）

レベル0：敷地内オープンエリア

機械室・PS・EPS

	自動扉	錠 (鍵管理)	電気錠
レベル5	—	○	○
レベル4	—	○	○
レベル3	—	○	—
レベル2	○	○	○
レベル1	○	○	—

● 自動扉（レベル1、レベル2）

● 錠（鍵管理）（レベル1-5）

● 電気錠（カードリーダー付属）（レベル2、レベル4-5）

P パニックオープン（火災時解錠）※

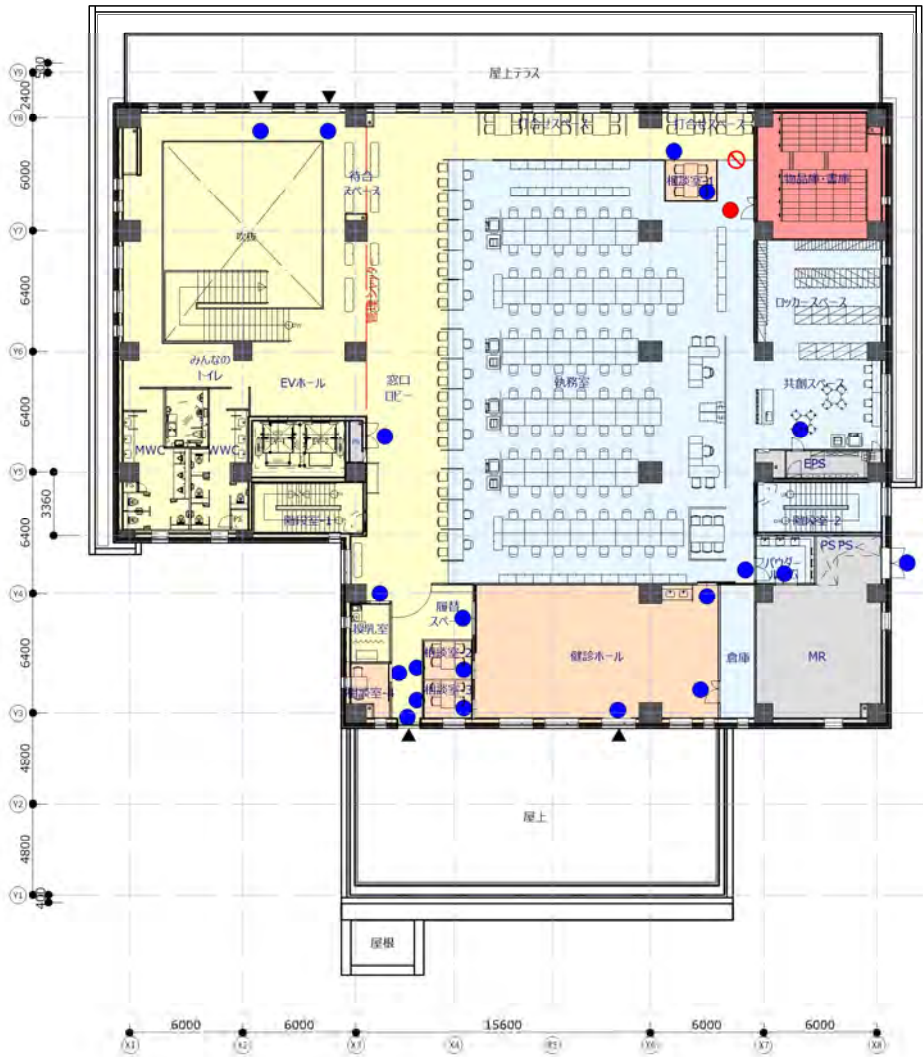
※ 自動扉の電気錠で非常時に火災報知機から非常信号を受けてただちに扉が解錠する。

⊘ 立て看板など簡易的な設え

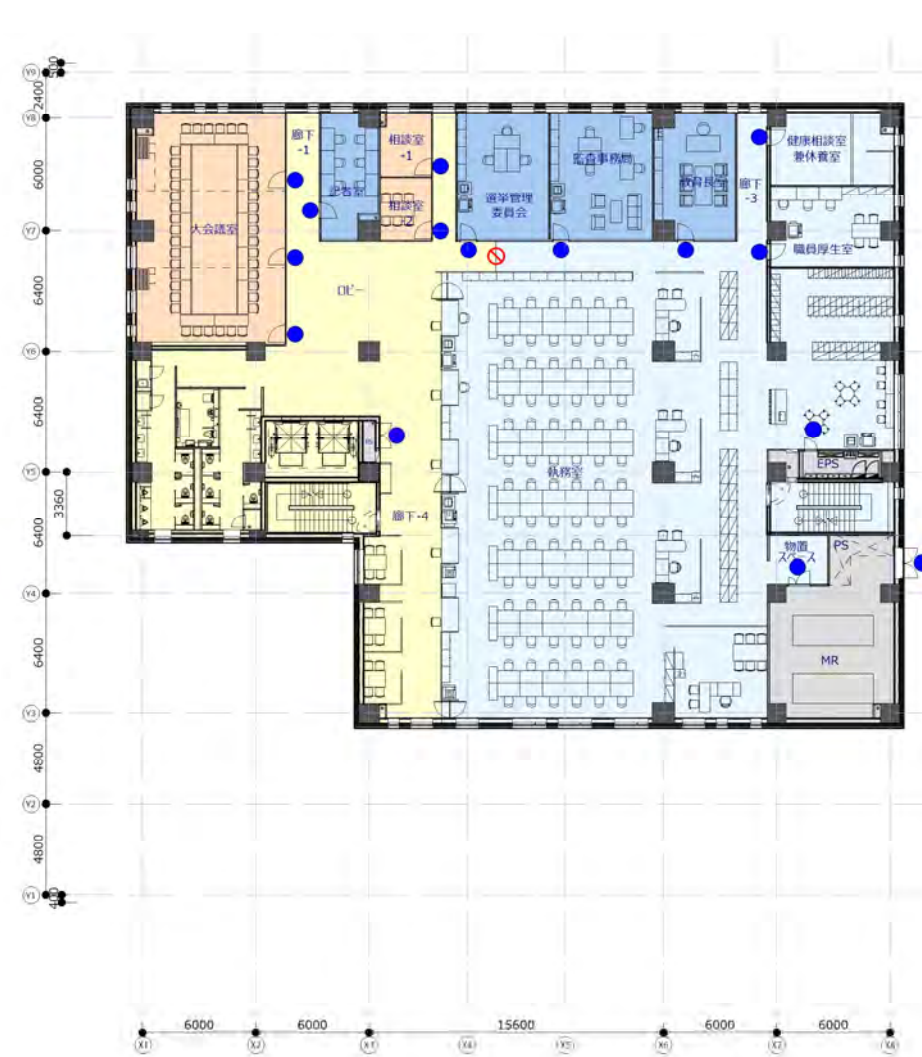
--- シャッター（イベント開催等による庁舎開放時のセキュリティライン）



1F平面図 1/400



2F平面図 1/400

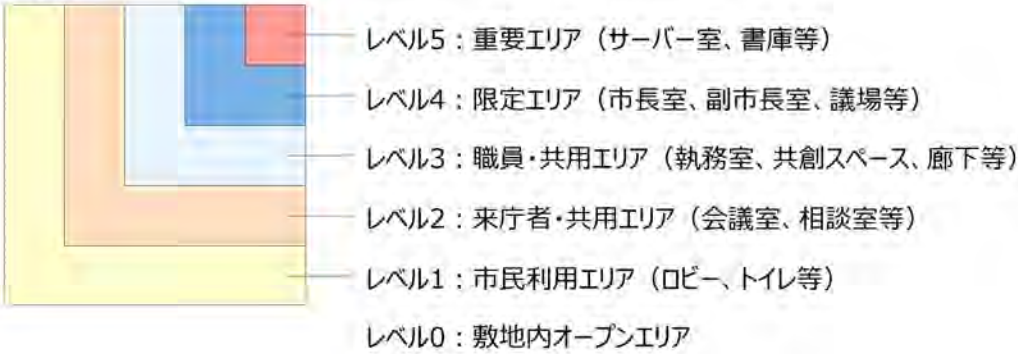


3F平面図 1/400

a-13. セキュリティ計画

■ 4階～屋上階

凡例



機械室・PS・EPS

	自動扉	錠 (鍵管理)	電気錠
レベル5	—	○	○
レベル4	—	○	○
レベル3	—	○	—
レベル2	○	○	○
レベル1	○	○	—

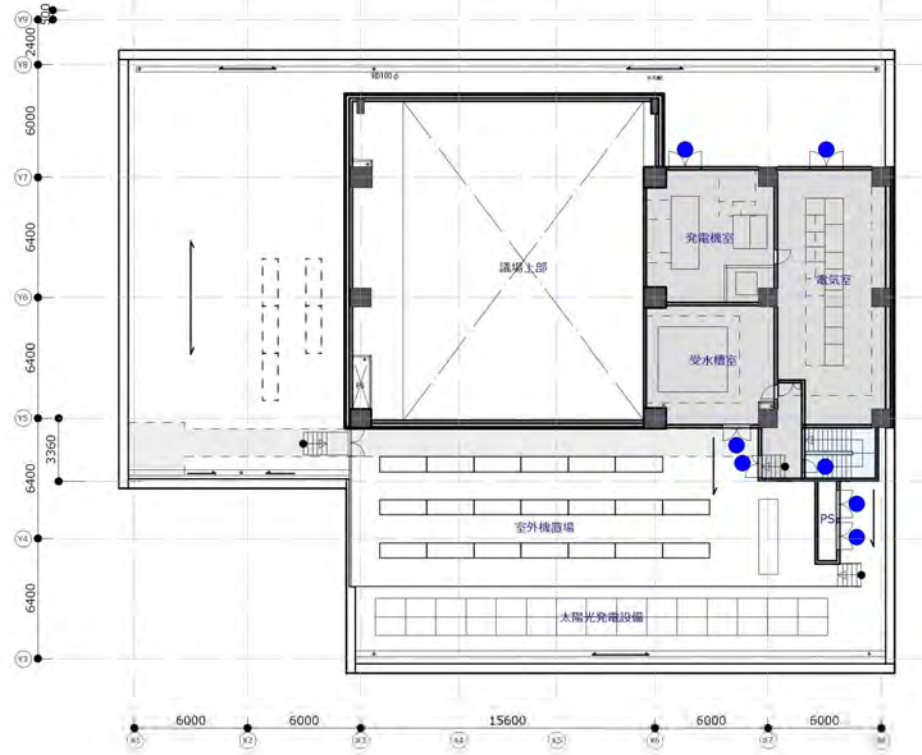
- 自動扉（レベル1、レベル2）
- 錠（鍵管理）（レベル1-5）
- 電気錠（カードリーダー付属）（レベル2、レベル4-5）
- P パニックオープン（火災時解錠）※
- ※ 自動扉の電気錠で非常時に火災報知機から非常信号を受けてただちに扉が解錠する。
- 立て看板など簡易的な設え
- シャッター（イベント開催等による庁舎開放時のセキュリティライン）



4F平面図 1/400

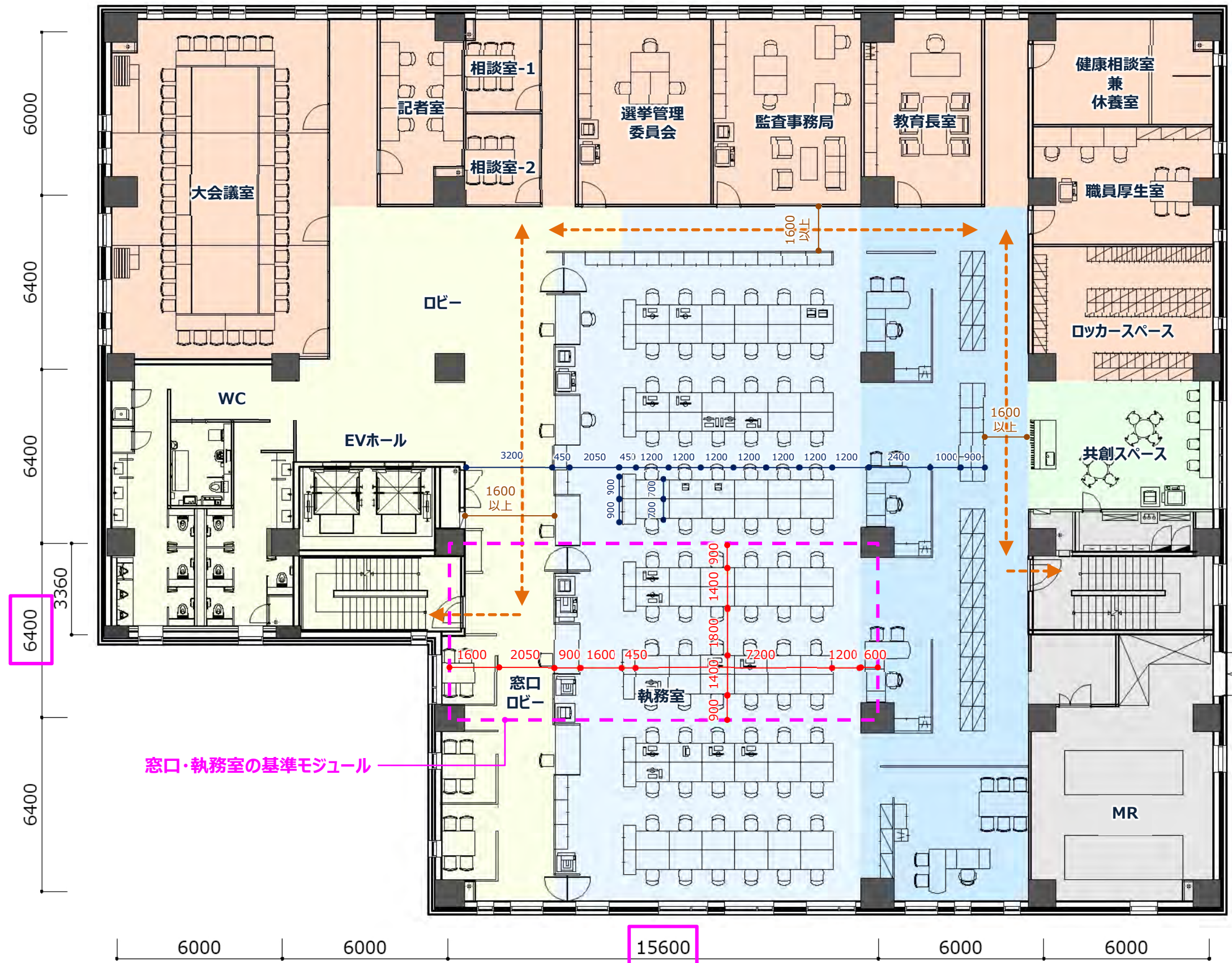


5F平面図 1/400



RF平面図 1/400

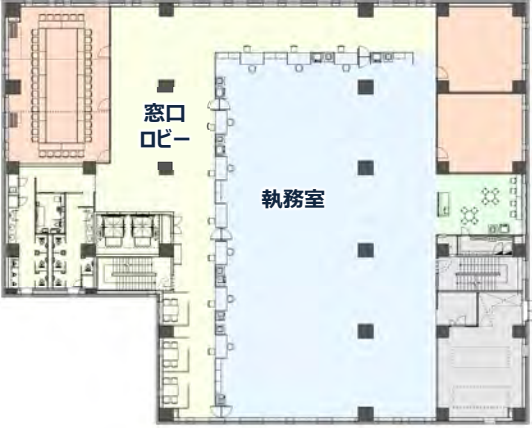
a-14. レイアウト基準書



3階平面図

■レイアウト変更に対応可能な計画

パターン①：執務室が拡張される場合



パターン②：通路の両側に執務室が配置される場合



パターン③：南側に小部屋が配置される場合



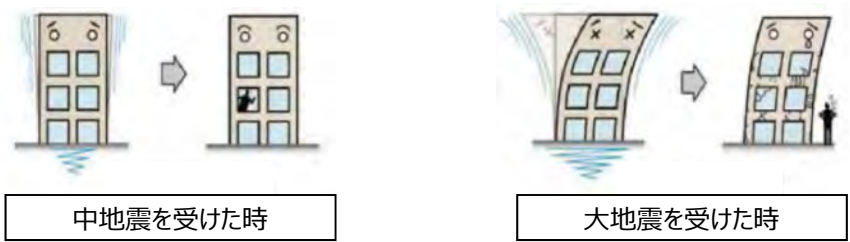
※東西方向への2方向避難計画により、両側居室で必要な1600mm以上の幅員を確保する計画。
※レイアウト変更した場合でも、南北どちらか片側からは自然排煙の確保が必要。

■ 構造体の耐震安全性の目標

(1) 建築基準法における耐震性能目標

建築基準法で定められた耐震性能目標の考え方は下記です。

- ・中地震時（耐用年限中に数度は遭遇する程度の地震）では、建物は損傷しない。
- ・大地震時（耐用年限中に一度遭遇するかもしれない程度の地震）では、人命を守ることを目標とし、建物が倒壊しないようにするが損傷は許容する。



(2) 本計画における耐震安全性の目標

「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省）」に準じて、耐震安全性の目標を設定します。

庁舎は、災害時の拠点となるため、建築基準法に基づく耐震性能の1.5倍を有する「Ⅰ類」で設計します。その他、付属建物及び工作物等は「Ⅲ類」で設計します。

分類	耐震安全性の目標	重要度係数
Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	1.5
Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。	1.25
Ⅲ類 建築基準法に基づく耐震性能	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。	1.0

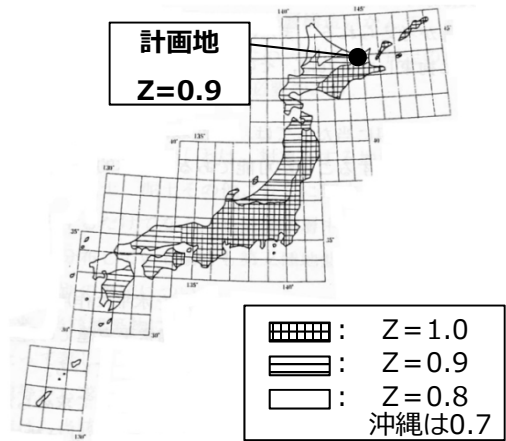
非構造部材は「A類」、建築設備は「甲類」で設計します。

部位	目標	耐震安全性の目標
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られているとともに、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できることを目標とする。

■ 建設地の地震発生確率

(1) 計画地の地震地域係数

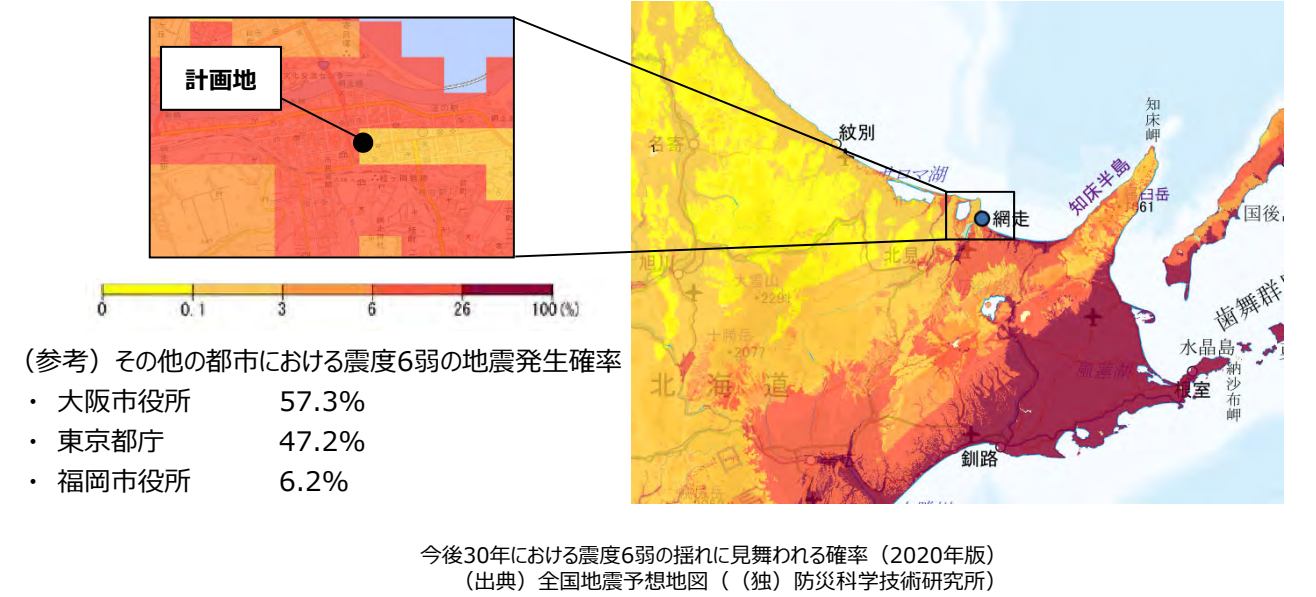
建築基準法では、地域毎の地震発生確率に応じて設定された地震地域係数によって、設計用地震力を低減してもよい、としています。網走市の地震地域係数は0.9となっており、本建物についても採用します。



(2) 地震発生確率

（独）防災科学技術研究所による、「30年における震度6弱の揺れに見舞われる確率」の分布図は下図になります。

計画地周辺の今後30年における震度6弱の揺れに見舞われる確率は、19.7%を示しています。



■ その他の性能目標

(1) 地震時の建物変形に関する目標

- ・中地震時 1/200（1次設計）
- ・大地震時 1/100（2次設計）

(2) 振動に関する性能目標

- ・床の鉛直振動 一般事務室レベル（V-90以下）
- ※建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説（2018）

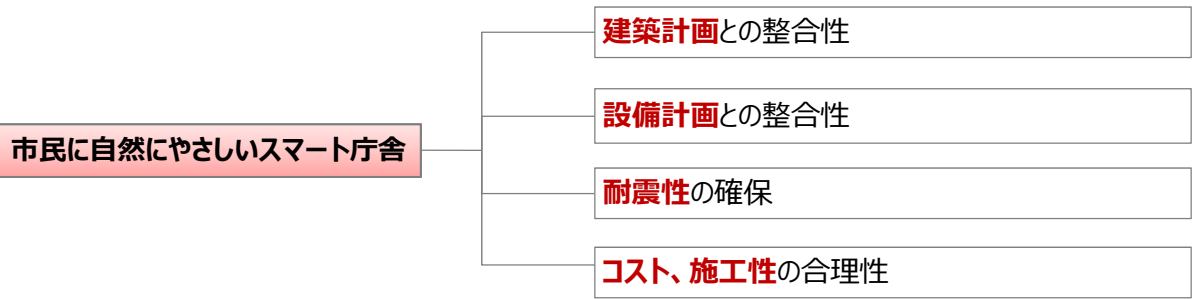
a-15. 構造計画

■ 建物概要

- 建物規模 : 地上5階
- 構造種別 : 鉄筋コンクリート造一部プレストレストコンクリート造
- 構造形式 : 耐震構造
- 架構形式 : 耐震壁付ラーメン構造
- 基礎形式 : 杭基礎

■ 構造計画コンセプト

新庁舎建設基本構想に基づき、下記を構造計画のコンセプトとします。



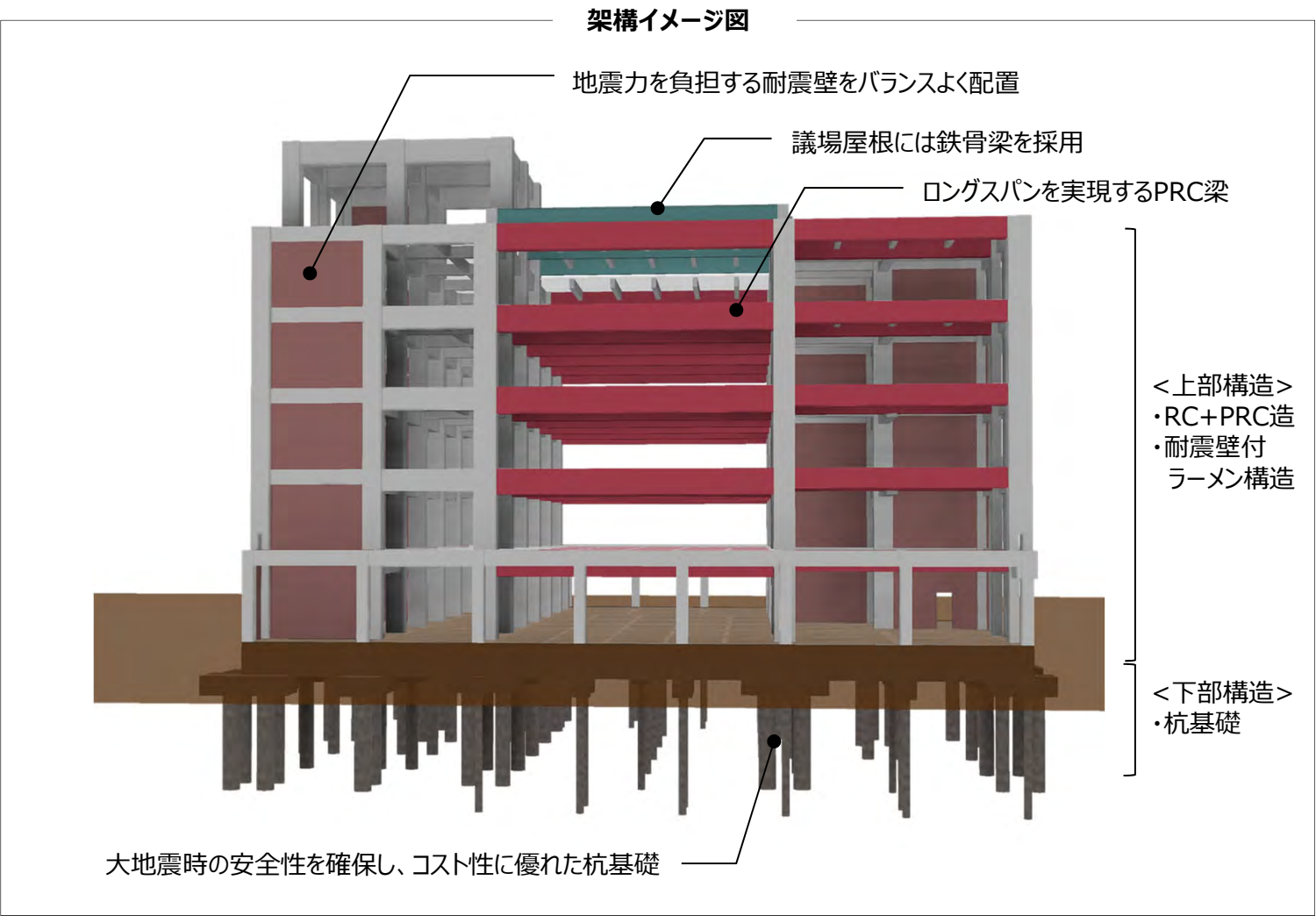
■ 設計条件

建築基準法・同施行令・告示等に基づき、設計用諸条件を設定します。

- 地震 : 地域係数 $Z=0.9$
- 風 : 基準風速 $V0=32\text{m/s}$
- 積雪 : 垂直積雪量 100cm (多雪区域 : 30N/cm/m^2)
- その他 : 凍結深度 80cm

■ 構造設計方針

- 構造形式は、コスト・工期に最も優れメンテナンス性にも配慮した耐震構造で計画します。
- 網走市の地域経済への影響に配慮し、かつコストを抑制できる鉄筋コンクリート造一部プレストレストコンクリート造（RC造、一部PRC造）で計画します。
- 市民の利便性を高め、開放的な執務空間とするためにプレストレストコンクリート梁（PRC梁）を用いてロングスパンを実現します。
- 建築計画や設備計画との整合を図りながら耐震壁をバランスよく配置することで、柱梁断面を抑制しコスト合理性を図ります。
- 議場の屋根には鉄筋コンクリート梁と比較して軽い鉄骨梁を採用し、コストを抑制しつつ議場の空間自由度を高めます。
- 基礎形式は大地震時の安全性を確保し、コストを最も抑制できる杭基礎で計画します。



a-15. 構造計画

■地盤概要

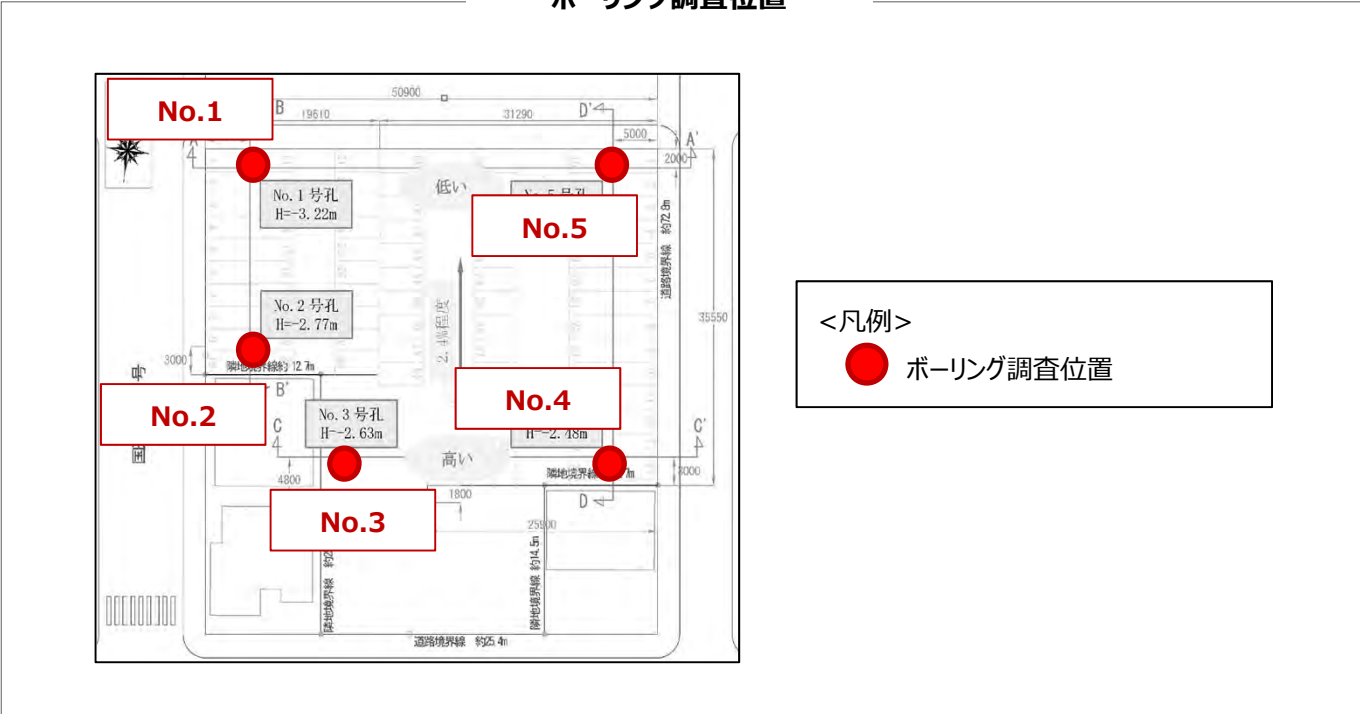
- 表層の盛土以深は、地表面より8.4m程度まで沖積層の砂質土（N値＝8～30程度）、地表面より8.4m以深は洪積層の砂質泥岩（N値＝50以上）となっています。
- 地下水位は、地表面より、3.77～4.25m（T.P+0.93～1.35）で確認されています。
- 液状化判定対象となる地盤において液状化判定を実施した結果、すべての地層で液状化の可能性はかなり低いと判定されています。

■基礎計画

- 基礎形式は大地震時の安全性を確保し、コストを最も抑制できる杭基礎で計画します。
- 杭基礎は、杭長は約8m程度、N値50以上※の砂質泥岩を支持層として計画します。
- 基礎梁・地下ピット底は凍結深度以下になるよう設定します。

※N値とは、地盤の締め具合を示した指標で、値が大きいほど密実で強度が高いことを示しています。

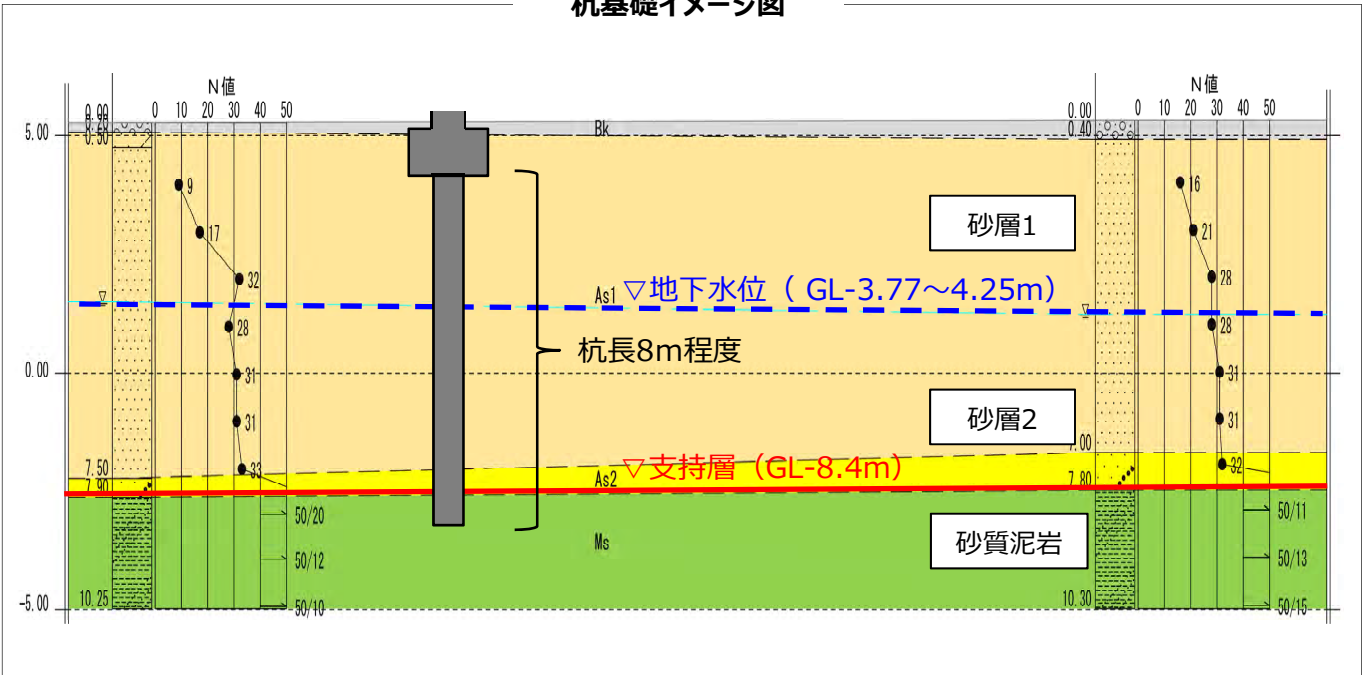
ボーリング調査位置



地盤構成表

地質時代	地層区分	土層区分	記号	層厚 (m)	N 値 (平均)	土層構成
第四紀	盛土	盛土層	Bk	0.2～0.6	—	切込碎石、切込砂利 φ5～40mmの垂角礫主体 上部アスファルト
		砂質土層1	As1	6.0～7.3	8～33 (23)	粒径均一 φ10～50mmの垂角礫点在
	沖積低地堆積物	砂質土層2	As2	0.4～1.5	29～75 (37)	粒径は細～中粒でやや均一 φ2～40mmの垂円・垂角礫10～30%程度混入
新第三紀	網走層	砂質泥岩層	Ms	2.35～3.80	75～150 (116)	無水掘削 採取コアは板ね柱状を呈する 岩片は軟質で手で割れる程度 褐色風化は認められない

杭基礎イメージ図



a-16. 電気設備計画

■電力設備

電力引込設備	高圧 6.6kV 50Hz 1回線
受変電設備	屋内薄型キュービクル式、油入変圧器（トッランナー）
自家発電設備	屋内キュービクル式（空冷ディーゼル又はガスタービン）、長時間型、超低騒音型
電灯設備	電灯幹線：600V CEケーブル 一般照明：LED照明、人感センサー、明るさセンサー、スケジュール制御等 コンセント：壁付コンセント、OAフロア内OAタップ 非常照明・誘導灯：LED光源（内蔵型）
動力設備	動力幹線：600V CEケーブル 動力分岐：動力盤及び二次側
接地・雷保護設備	接地設備：EACDは共通接地、EELB,B種及び通信用は単独接地、SPDにて統合接地 雷保護設備：新JIS雷保護設備(JIS A4101:2003)に準拠
太陽光発電設備	10kW程度の太陽光パネルを建物屋上へ設置（低圧みなし系統連系）
電熱設備	建物外構部へのロードヒーティング設置 建物底、雨水縦配管に設置

■弱電設備

構内交換設備	配管及び配線（MDF～IDF）及び電話端子を設置（機器は別途工事）
構内情報通信網設備	配管及びLAN用アウトレットを設置（機器は別途工事）
情報表示設備	電気時計：無線式電波時計 サイネージ：配管・ボックス、電源（機器及び配線は別途工事）
誘導支援設備	インターホン設備：休日・時間外来客者対応用、エレベータ用 トイレ呼出設備：緊急呼出用、みんなのトイレに設置
テレビ共同受信設備	UHF(地上波)及びBS/CS110°アンテナ、4K8K対応
監視カメラ設備	監視モニタ・カメラ・HDDを設置
入退室管理設備	非接触カードによる入退管理（ICカード及び登録は別途工事）
自動火災報知設備	P型受信機、自動試験機能付き
防災・行政用無線設備	空配管を設置（機器及び配線は別途工事）
議会用会議設備	議場内に設置
映像音響設備	大会議室にマイク・スピーカー・プレーヤーを設置
拡声設備	非常放送・業務放送兼用を設置
BEMS設備	建物のエネルギー管理のために設置
公衆無線LAN設備	配線ルート確保と機器への一次側電源供給（機器及び配線は別途工事）
携帯電話用不感知対応設備	IMCS用の配線ルート確保と一次側電源供給（機器及び配線は別途工事）

a-17. 機械設備計画

■ 空調設備

外気条件	夏期：28.6℃、69%RH 冬期：-10.9℃、61.3%RH （国土交通省「建築設備設計基準 平成30年版」網走の条件を採用） ※守衛室は24時間運転を考慮した冬期外気温を設定します。
室内温湿度	居室：夏期26℃～28℃、成行き 冬期20℃～22℃、40%RH程度 サーバー室：24℃程度、50%RH程度
熱源設備	電気利用空冷ヒートポンプエアコン（EHP） 地中熱利用空冷ヒートポンプエアコン 地中熱設備：ボアホール式
空調設備	ビル用マルチ空調機 直膨全熱交換器組込エアハンドリングユニット
換気設備	執務室：第1種換気 トイレ、給湯室：第3種換気
排煙設備	自然排煙
自動制御設備	空調：状態監視、発停制御 衛生：ポンプ発停制御、水位制御

■ 衛生設備

給水設備	南側給水本管PE150φより引き込み 上水：直圧受水槽方式 受水槽容量：20m ³ （中仕切り付） 災害時対応：受水槽による雑用水貯留（飲料水はペットボトル対応）
給湯設備	個別給湯方式（電気） 対象室：トイレ、給湯室、健診ホール及び授乳室他
排水設備	屋内：合流方式（汚水+雑排水） 屋外：分流方式（汚水+雑排水、雨水） 自然流下方式、南側既設公設枡を改修し下水道本管へ放流 災害時対応：排水系統を切り替えてピット内緊急汚水槽へ放流 地下ピット：湧水ポンプ（2台自動交互運転）
衛生器具設備	大便器：壁掛型洋風大便器（節水型、フラッシュバルブ）、温水洗浄便座、擬音装置 小便器：低リップ自動洗浄便器（節水型） 洗面器：カウンター式洗面器、自動水栓、自動水石けん供給栓 給湯室：熱湯栓付シングルレバー混合水栓
消火設備	消防用途：15項 屋内消火栓、消火器

a-18. 昇降機設備計画

■ 基本的な考え方

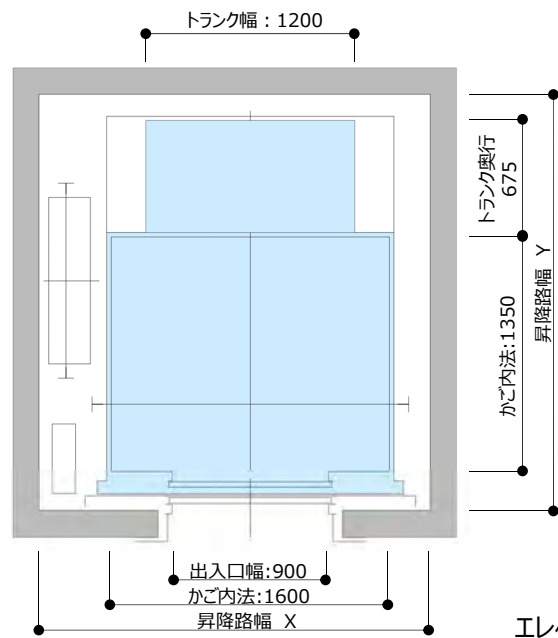
・垂直移動の利便性とユニバーサルデザインに配慮し、あらゆる人にとって使いやすい計画とします。

■ 計画概要

- ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の基準に適合し、かつ、車いすと同行者が同時に乗ることのできるゆとりのある広さを考慮して、13人乗りを設置します。
- ・ 5 階の一時避難スペース（議場、会議室）への速やかな垂直避難を考慮して、エレベーターは2 基設置します。
- ・ 緊急時のストレッチャー搬送を考慮し、トランク付きエレベーターとします。
- ・ バリアフリー対応とし、エレベーター内には両側手すりを設け、腰を掛けられるベンチを設置します。
- ・ 来庁者の利便性や安全性、わかりやすさを考慮し、メインエントランスや総合案内から近く、執務室内の職員からも目の届く位置に設置します。
- ・ 停電時は、非常用発電機回路を使用して、2 台とも利用可能とします。
- ・ 災害時の自動復旧運転機能を導入します。

■ 仕様・かごサイズ

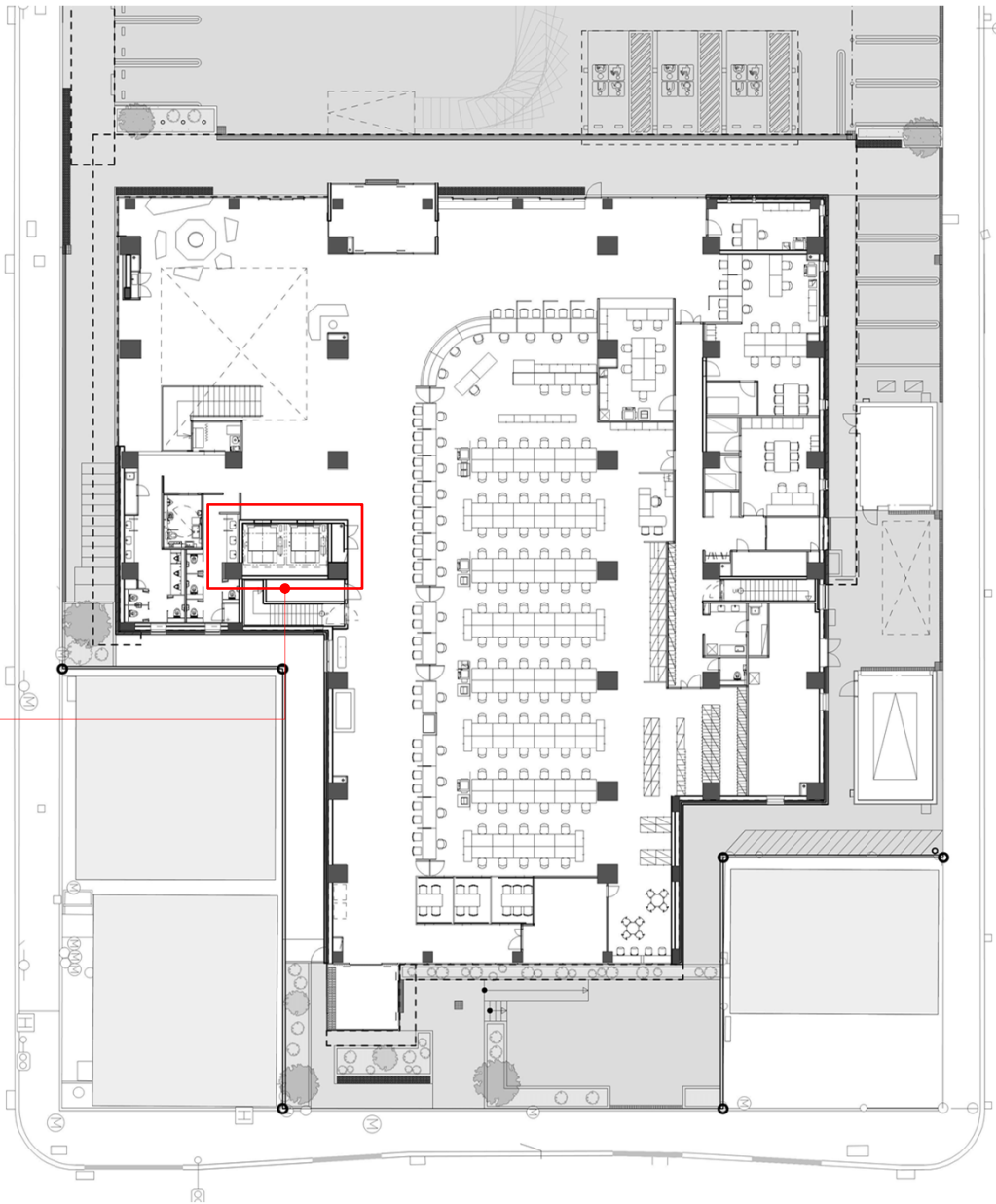
- ・ 仕様 : 乗用13人乗り、積載900kg、速度60m/分、5カ所停止（1～5F）
- ・ かご内寸法 : 間口1600mm×奥行1350mm
- ・ 出入口寸法 : 間口900mm×高さ2100mm
- ・ トランク寸法 : 幅1200mm×奥行675mm
（※網走市消防所有のストレッチャーサイズ：幅580mm×長さ1990mm）



エレベーター平面イメージ

※昇降路有効寸法(X,Y寸法)、オプション等仕様決定後、シャフトレイアウトを確認します

EV2台配置



エレベーターの配置

a-19. 外構計画

■ 基本的な考え方

- 歩行者通路は車路と舗装仕上を変えて明確に区分し、段差を設けない安全な計画とします。
- 敷地の各所には植栽帯とベンチを設け、景観への配慮と歩行者ネットワークに寄与する計画とします。

■ 駐車場

- 来庁者用の駐車場は、現庁舎以上の72台を確保します。
- 北側出入口に近接して屋根付きの「おもいやり駐車場」を配置します。
- おもいやり駐車場にはロードヒーティングを設置します。
- 駐車場出入口にはゲートを設置します。西側が入口、東側が出口と明確に分けることで、交通車両や歩行者の安全に配慮した動線とします。
- 駐車場内を一方通行とすることで場内の安全に配慮します。
- 来庁者用のバイク駐車場2台、駐輪場10台を確保します。
- 公用車駐車場は13台確保します。

■ 歩行者通路

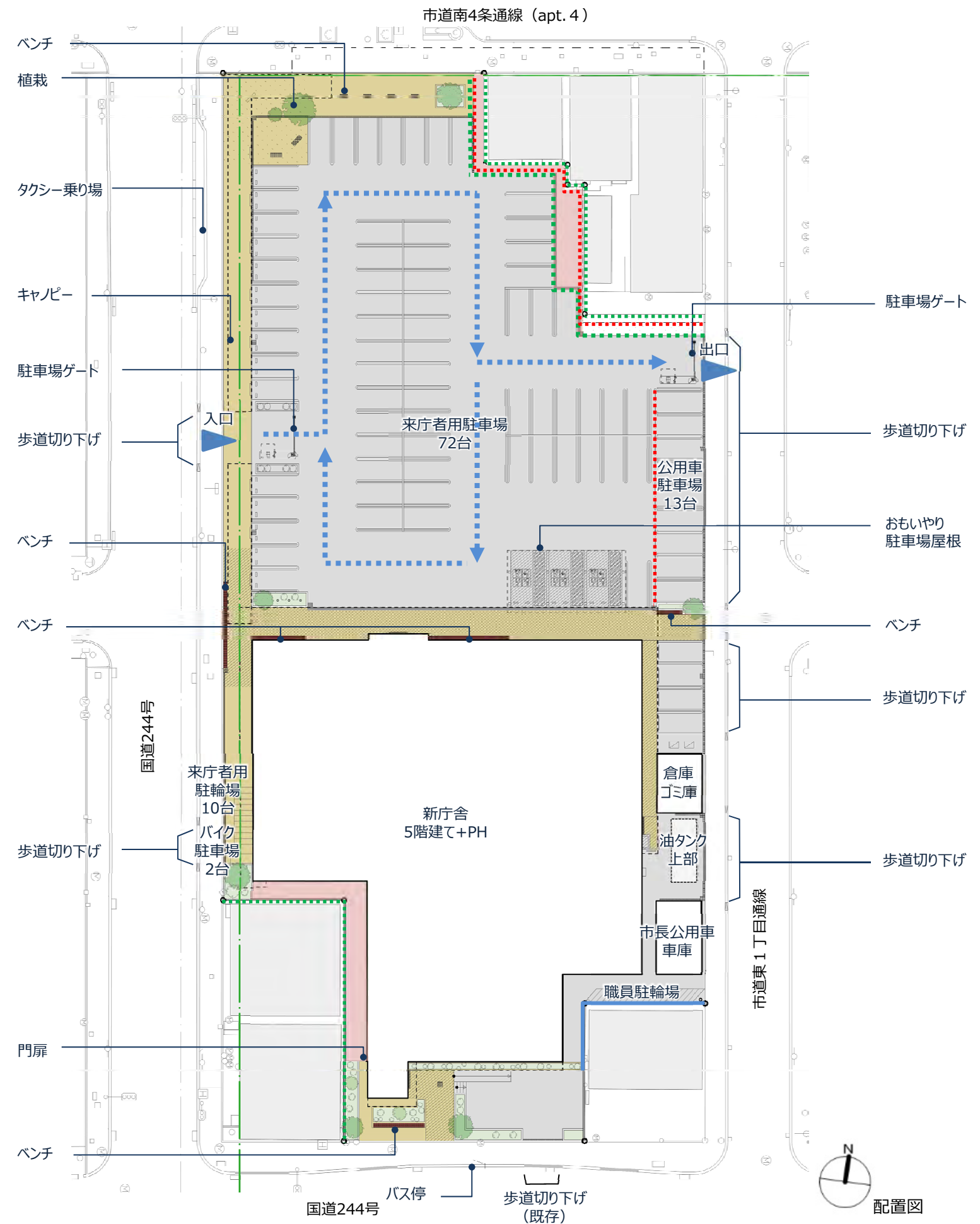
- 敷地内に段差をつくらず、勾配が3%以下となるように計画します。
- 駐車場の西側には、来庁者が安全に庁舎にアクセスできるキャノピーを設置します。
- バス利用者のためのベンチを、敷地南側に配置します。
- 歩行者が敷地内へアクセスする箇所に、植栽帯やベンチを配置します。
- 北側・南側の出入口の歩道には、ロードヒーティングを設置します。

■ 付属施設

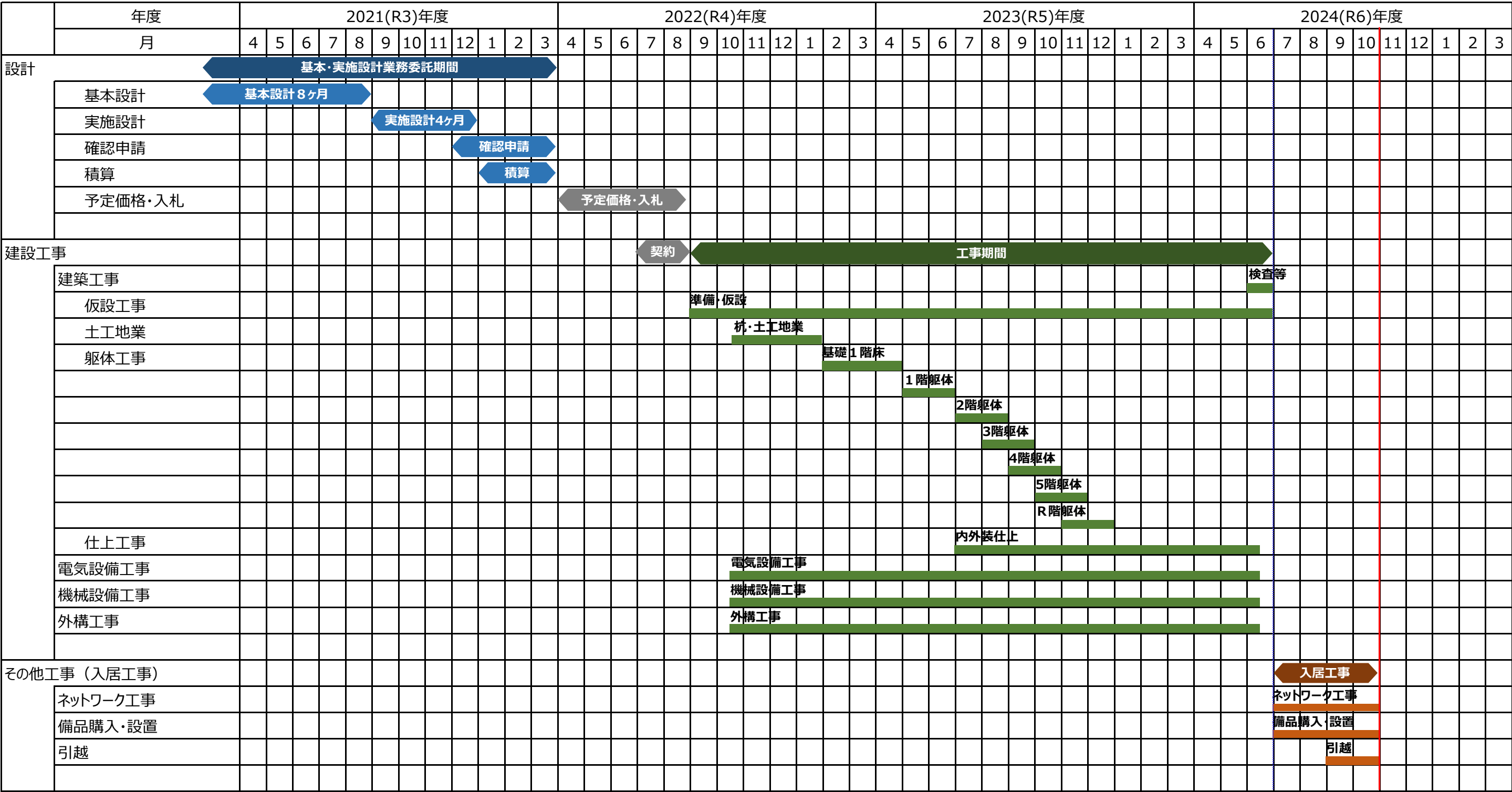
- 敷地東側には、倉庫、ゴミ庫、市長公用車車庫や、災害時に利用する油タンクを設置します。

【凡例】

	擁壁(隣地境界線)		ブロック舗装		砂利
	縁石(隣地境界線)		アスファルト舗装		植栽
	チェーンフェンス		コンクリート舗装		ロードヒーティング



b-1 . 概略工程表



c- 1. 概算工事費

	概算工事費（税込み）	工事区分	各概算工事費（税込み）	内容
新庁舎建設工事	4,257,000,000 円	建築工事	2,453,000,000 円	建物本体（車庫、屋外倉庫等含む）
		電気設備工事	602,800,000 円	電気設備（太陽光発電設備含む）
		機械設備工事	848,100,000 円	機械設備（地中熱ヒートポンプ関連含む）
		外構工事	353,100,000 円	駐車場整備、キャノピー、植栽、看板、ロードヒーティング等

※上記金額には、ネットワーク工事、備品購入・設置、引越等費用は含まれておりません。

d-1.関係法令チェックリスト

■建築基準法

区分	項目	規定	関係条項	適否
地域 地区指定	都市計画区域	非線引き都市計画区域		
	用途地域	商業地域	法48条	○適用
	指定地域	準防火地域	法61-67条	○適用
道路	前面道路	北側(市道南4条通線)14.5m、東側(市道東1丁目通線)10.9m 南側(国道244号)18m、西側(国道244号)14.5m	法43条	○適用
	敷地と道路	敷地の接道長さ≥ 2 m、延面積1000㎡超の場合敷地の接道長さ≥6m	法43条、道条例6条	○適用
一般規定	容積率	400%	法52条	○適用
	建ぺい率	100%（建蔽率80%+角地緩和10%+準防火地域の耐火建築物10%）	法53条	○適用
	道路斜線	前面道路の反対側の境界線からの斜線勾配 勾配1：1.5、L= 20m	法56条	○適用
	隣地斜線	隣地境界線からの斜線勾配 勾配1：2.5、h = 31m	法56条	○適用
	日影規制	測定高さ4m、規制時間2.5時間・4時間	法56条の2	○適用
	無窓居室	換気、採光に有効な開口部 <居室面積/20、排煙に有効な開口部 <居室床面積/50	法28条 令116条の2	○適用
	シックハウス対策	居室の内装の仕上げる制限、居室には換気設備を設ける、天井裏等の措置	法28条の2	○適用
	天井高さ	居室の天井高は2.1m以上とする	令21条	○適用
	避雷設備	高さ20m超えの建築物への設置義務	法33条	○適用
	防火規定	防火地域内の建築物	準防火地域：階数が4以上のもの若しくは延べ面積が1,500㎡を超える建築物：耐火建築物等	法61条,令136条の2
建築物が防火/準防火内外にわたる		その全部について防火地域内の建築物に関する規定を適用する。（防火壁で区画さえる場合を除く）	法67条	×適用外
耐火性能			令107条	○適用
間仕切壁（内壁）：		1-2階：2時間耐火（耐力壁）、3-屋上階：1時間耐火（耐力壁）		○適用
柱・梁：		1-2階：2時間耐火、3-屋上階：1時間耐火		○適用
床：		1-2階：2時間耐火、3-屋上階：1時間耐火		○適用
屋根：		30分耐火		○適用
階段：		30分耐火		○適用
外壁：		1-2階：2時間耐火（耐力壁） 3-屋上階：1時間耐火（耐力壁）（延焼の恐れのない非耐力壁30分）		○適用
外壁の開口部の防火戸(防火地域内)		延焼の恐れのある部分は防火設備	法64条	○適用
防火壁による区画		1,000㎡以下 耐火・準耐火建築物は不要	法26条	×適用外
防火区画				○適用
面積区画：		1,500㎡以下 スプリンクラーは設置無	令112条1項	○適用
竪穴区画：		地階または 3 階以上の階に居室を有するものの階段の部分に必要	令112条9項	○適用
防火区画に接する外壁等			令112条10,11項	○適用
平面区画：		1.当該部分に接する部分を含み幅900mm以上の部分を耐火構造		○適用
		2.外壁面から500mm以上突出した準耐火構造の庇、袖壁等とする。当該部分に開口部がある場合、網入りガラスとする		○適用
水平区画：	スパンドレル部：耐火ボード+上部網入りガラスで合計900mm以上確保する		○適用	
異種用途区画：	自動車車庫 3階以上の階又は150㎡以上	令112条13項	×適用外	
内装制限	特殊建築物 or 階数 3 > 500㎡、階数 2 > 1,000㎡、階数 1 > 3,000㎡ or 無窓 or 火気使用室			○適用
	居室：難燃（1.2m以下の腰壁除く）		令129条4項	○適用
	通路・階段等：（天井）準不燃、（壁）準不燃			○適用

■建築基準法				
区分	項目	規定	関係条項	適否
避難規定	居室の床面積合計≧200㎡ 両側居室：幅1,600mm以上 片側居室：幅1,200mm以上		令119条	○適用
	廊下の幅			
	階段	事務所レベルだと下記による↓	令23条1項	○適用
		地上階用（直上階の居室の床面積>200㎡以上）幅；1,200mm以上、蹴上；20mm以下、踏面；240mm以上		○適用
	屋外避難階段：	該当なし 屋外階段幅；900mm以上、蹴上；20mm以下、踏面；240mm以上		×適用外
	階段幅：	壁からの手摺の出≦100mmは手摺はないものとみなす	令23条3項	○適用
	踊り場：	高さ≦4 mに設け踏幅1,200mm以上	令24条	○適用
	避難距離	（直通階段までの歩行距離）≦60m（50m+10m主要構造部が準耐火構造・内装不燃以上）	令120条1項・2項	○適用
	重複距離：	2以上の直通階段 ≦30m	令121条3項	○適用
	屋外への出口(避難階)：	階段から屋外への出口の一まで至る歩行距離≦50m（主要構造部が準耐火構造・内装不燃以上）	令125条1項	○適用
		その他の建築物：居室の各部分から屋外への出口の一まで至る歩行距離≦80m（同条規定の2倍以下）		○適用
	2以上の直通階段	5階以下の階でその階における居室の床面積の合計が避難階の直上階にあつては400㎡を、その他の階にあつては200㎡を超えるもの(主要構造部が準耐火構造・内装不燃以上)	令121条	○適用
	敷地内の避難通路	特殊建築物、階数≧3、無窓居室、延べ面積≧1,000㎡建物出口や避難階段から道路等に通じる通路の幅≧1.5m	令128条	○適用
排煙設備	階数が3以上で延床面積＞500㎡を超える建築物、排煙上無窓居室（令第116条の2の1項2号）必要		令126の2	○適用
		防煙区画≦500㎡、排煙口からの水平距離≦30m	令126の3	○適用
	自然排煙設備の排煙口：	面積；床面積の1/50以上、天井より下方800mm以内、折下げ天井；ペリメーター水平距離800mm		○適用
	非常用照明	延べ面積＞1,000㎡の居室、採光無窓居室、階数≧3床面積＞500㎡	令126の4	○適用
	非常用の進入口	31m以下の部分にある3階以上の階	令126の6	○適用

d-1.関係法令チェックリスト

■ 消防法				
区分	項目	規定	関係条項	適否
	防火対象物	前各項に該当しない事業所（15）項に該当	令6条、別表第1	
	無窓判定	直径 50 cm以上の円が内接することができる開口部＋直径1m以上の円が内接することができる開口部（又は、幅≧75cm、高さ≧1.2mの開口部）が2以上＞当該階の床面積1/30	令10条-1-5 規5の3-1	○適用
	消火器	居室：延べ面積≧300㎡、無窓階または3階以上：床面積≧50㎡、指定可燃物の貯蔵・取扱≦500倍	令10条	○適用
	屋内消火栓設備	居室：延べ面積≧1,400㎡（準耐火構造）、無窓階・4階以上：床面積≧300㎡（準耐火構造）、指定可燃物の貯蔵・取扱≦750倍	令11条	○適用
	スプリンクラー設備	11階以上の階、指定可燃物の貯蔵・取扱≦1,000倍	令12条	×適用外
	水噴霧消火設備	機械装置駐車台数≧10台、電気室≧200㎡	令13条～令18条	×適用外
	屋外消化栓設備	1 階又は1階及び2階の部分の合計床面積≧6,000㎡（準耐火構造）	令19条	×適用外
	動力消防ポンプ設備	延面積準耐火≧2,000㎡・耐火≧3,000㎡、地階・無窓階床面積準耐火≧400㎡・耐火≧600㎡、※屋内消火栓の有効範囲は免除	令20条	×適用外
	自動火災報知設備	延べ面積≧500㎡、無窓階・3階以上：床面積≧300㎡、11階以上、指定可燃物の貯蔵・取扱≦500倍	令21条	○適用
	ガス漏れ火災警報設備		令21条の2	×適用外
	漏電火災警報器	ラスマルタルのみ	令22条	×適用外
	消防機関へ通報する自動火災報知設備	延べ面積≧1,000㎡	令23条	○適用
	非常警報設備	（一般階）従業者数≧50、（地階・無窓階）従業者数≧20、地下3階、11階以上	令24条	○適用
	避難器具	従業者数≧150（3階以上の有窓階）	令25条	○適用
	誘導灯	建物の地階、無窓階および11階以上	令26条	×適用外
	誘導標識	設置	令26条	○適用
	消防用水	敷地面積20,000㎡以上かつ準耐火建築物10,000㎡以上、高さ31m以上	令27条	×適用外
	排煙設備	地階の床面積合計1,000㎡	令28条	×適用外
	連結散水設備	地階の床面積合計≧700	令28条の2	×適用外
	連結送水設備	延面積≧6,000㎡かつ5階以上	令29条	○適用
	非常用コンセント設備	11階以上	令29条の2	×適用外
	無線通信補助設備	地下街で延べ面積1,000㎡以上	令29条の3	×適用外
	総合操作盤	延べ面積50,000㎡以上、地階を除く階数が15以上かつ延べ面積30,000㎡以上	規12-1-8	×適用外

■ 関係法令・条例				
区分	規定	関係条項	適否	
建築確認申請	昇降機	確認申請書（昇降機）	○適用	
開発許可	3,000㎡以上の開発行為	開発許可申請書	○適用	
土壌汚染対策法	対象区域無し		×適用外	
建築物省エネ法	適合判定義務：非住宅≧2,000㎡、届出：建築物300㎡以上 ※300㎡以上の「増改築」を行い、増改築後2,000㎡以上となる場合、増改築の床面積が増改築後の延面積の1/2以下ならば届出のみで良い。	届出書	○適用	
建築リサイクル法	床面積≧500㎡以上の新築、増築工事	許可申請書	○適用	
中高層建築物の建築物に係る条例	網走市指定なし	許可申請書	×適用外	
都市計画法（風致地区）	対象区域無し	許可申請書	×適用外	
都市緑地法	対象区域無し	許可申請書	×適用外	
伝統的建造物群保存地	対象区域無し	許可申請書	×適用外	
土地区画整理法	対象区域無し	許可申請書	×適用外	
道路法	24条申請道路区域の確認		○適用	
	32条申請道路区域の確認		×適用外	
駐車場法	（1）道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であつて、一般公共のように供されるもの。 （2）駐車のように供する部分の面積（駐車ますの面積の合計）が500㎡以上であるもの。 （3）料金を徴収するもの。		×適用外	
航空法	空港の進入表面等にかかる物件 対象区域無し		×適用外	
特定建築物の定期報告	事務所その他これらに類するもの 階数≧5かつ床面積1,500㎡以上	報告書	○適用	
建築設備の定期報告	特定建築物に該当するもの	報告書	○適用	
防火設備の定期報告	特定建築物に該当するもの	報告書	○適用	
昇降機の定期報告	住宅用を除き、毎年報告が必要	報告書	○適用	
バリアフリー法	不特定多数の者が利用し、又は主として高齢者、障がい者等が利用する建築物に適用。 ・建築物移動等円滑化基準(適合義務) ・建築物移動等円滑化誘導基準(努力義務)		○適用	
北海道 福祉のまちづくり条例	多数の方が利用する施設の新築、増築、改築、大規模修繕時に適合努力義務が発生 届出が必要	届出書	○適用	
北海道 景観条例	高さ>13mまたは延面積>2,000㎡の新築、増築、改築または移転	許可申請書	○適用	
北海道 屋外広告物条例	国道から500m以内の展望できる地域 地上広告物：1面<30㎡高さ<10m、屋上広告物：1面<75㎡、壁面広告物：取付面1/3またはの50㎡の小さいほう	許可申請書	×適用外	



鳥瞰パース

e-2. 外観パース



北側外観パース



南側外観パース



1階窓口内観パース



1階市民ホール(イベント利用時)内観パース



5階議場内観パース

基本設計図

■外部仕上表

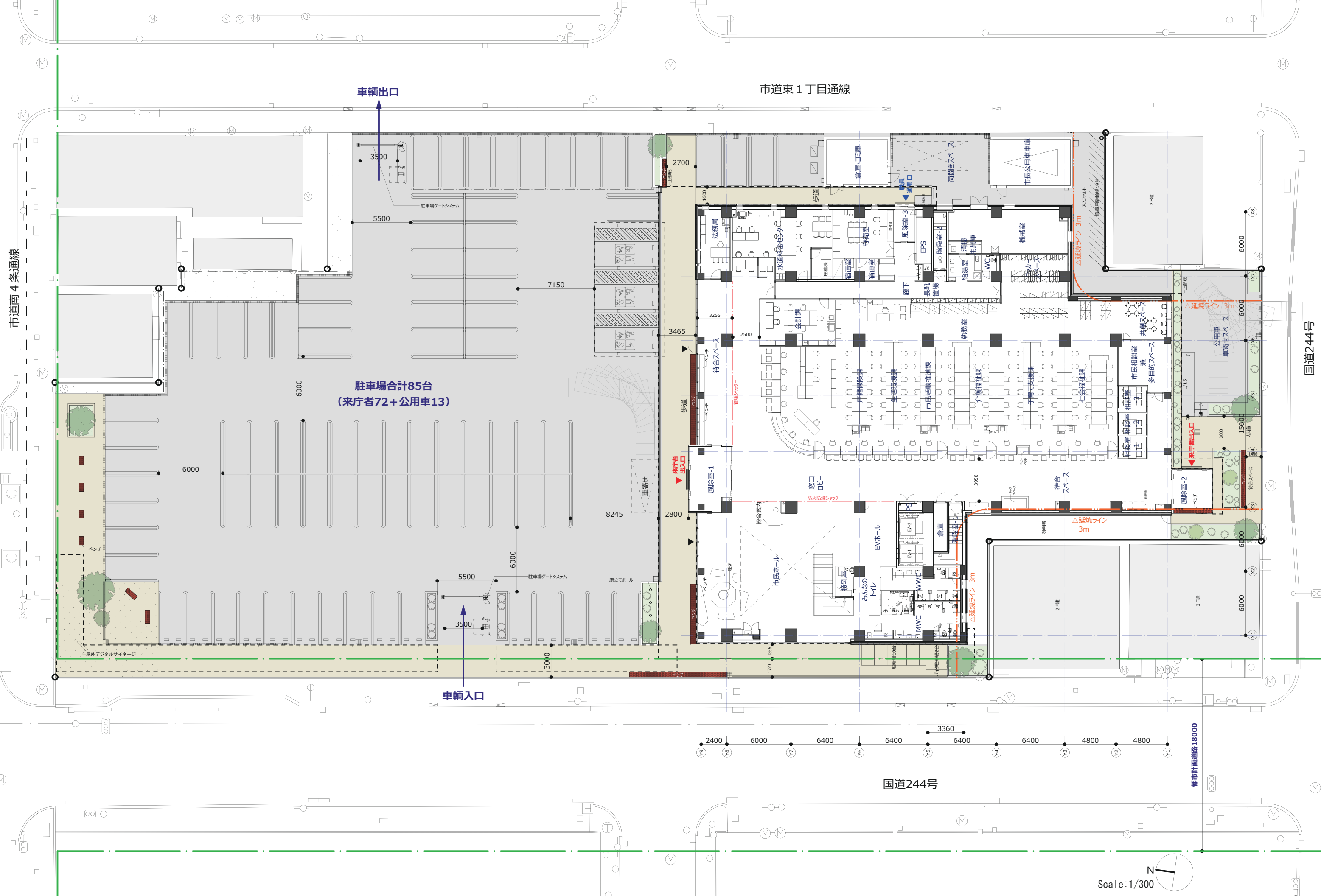
屋上	6F屋上	アスファルト防水保護断熱工法(水勾配1/100)	外壁	PC板、無機塗装	建具	外部建具:アルミ製、鋼製(DP塗装)	市長 公用車 車庫	オーバースライダー手動シャッター、鋼製建具、側溝、集水樹、水栓、
		鋼製手摺、設備基礎・架台、階段		ガラスカーテンウォール		内部建具:鋼製(SOP塗装)、軽量鋼製(SOP塗装)		床:コンクリート刷毛引き仕上げ・撥水材塗布
		ルーフドレン、オーバーフロー管、目隠し壁(ECP)、設備用配管取出口		腰壁:PC板、無機塗装		自動扉:SUS製(焼付塗装)		外壁:RC打ち放しの上、無機塗装
	塔屋	アスファルト防水保護断熱工法(水勾配1/100)、ルーフドレン、オーバーフロー管		断熱材:押出法ポリスチレンフォーム3種bD(0.022/Wm・k)、厚さ100mm		ガラリ:アルミ製、防鳥網・防虫網付		屋根:RC打ち放しの上、塗膜防水
テラス		笠木:アルミ型材	職員 通用口 ・ 建物庇	レンガ	倉庫 ・ ゴミ庫	オーバースライダー手動シャッター、鋼製建具、側溝、	外構	アスファルト舗装、白線引き、歩道切下げ、誘導ブロック、ロードヒーティング、
		断熱材:押出法ポリスチレンフォーム3種bD(0.022/Wm・k) 厚さ150mm				集水樹、水栓、		駐輪場、側溝、おもしろいり駐車場、来庁者用駐車場、旗立てポール、RC平板、
						床:コンクリート刷毛引き仕上げ・撥水材塗布		公用車駐車場、雨水樹、設備系柵、各種サイン、駐車場管制設備、ベンチ、植栽、
	2階	床:人工木ウッドデッキ、手摺:溶融亜鉛メッキリン酸処理		床:RC平板		外壁:RC打ち放しの上、無機塗装		キャノピー、デジタルサイネージ
テラス			職員 通用口 ・ 建物庇	側面:RC打ち放しの上、DP塗装	倉庫 ・ ゴミ庫	屋根:RC打ち放しの上、塗膜防水	外構	
				軒天:RC打ち放しの上、DP塗装				
				屋根:RC打ち放しの上、シート防水				

■内部仕上表

階	室名	面積	床			巾木		壁		天井			備考
			下地	仕上	躯体高さ (mm)	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	天井高さ(mm)	
1	風除室-1	25	RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	ガラス、網走産木材	RC	RC打ち放し	3200	自動扉挟まれ防止柵 SUS(焼付塗装)FB、点字紙
	風除室-2	16	RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	ガラス、網走産木材	RC	RC打ち放し	3200	自動扉挟まれ防止柵 SUS(焼付塗装)FB、点字紙
	風除室-3	6	RC	磁器質タイル	-60	磁器質タイル	60	GB	磁器質タイル	LGS	岩綿吸音板	2700	自動扉挟まれ防止柵 SUS(焼付塗装)FB、点字紙
	待合スペース	324	RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	網走産木材	—	ホルーバー	3200	サイネージ
	窓口ロビー		RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	網走産木材	—	ホルーバー	3200	サイネージ、点字紙(総合案内まで)
	市民ホール	189	RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	網走産木材	—	ホルーバー	3200	階段、キッチン、サイネージ、暖炉
	執務室	440	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	—	ホルーバー	3200	
	EVホール	24	RC	花崗岩	-60	RC 入巾木	60	GB	道産木材	—	ホルーバー	3200	
	相談室-1	6	OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	ガラスパーティション(H2000)
	相談室-2	6	OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	ガラスパーティション(H2000)
	相談室-3	7	OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	ガラスパーティション(H2000)
	水道料金センター	58	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	ホルーバー	3200	
	法務局	20	OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	
	会計課	31	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	ホルーバー	3200	
	授乳室	7	RC	ビニル床シート	-10	ビニル巾木	60	GB	耐水ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2400	おむつ交換台、授乳用ソファ一、手洗い
	市民相談室兼多目的スペース	23	OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	
	共創スペース	20	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	
	ロッカースペース	26	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	3200	
	守衛室	27	RC	ビニル床タイル	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	受付台
	宿直室	12	RC	ビニル床シート	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	給湯室	8	RC	ビニル床シート	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	既製品キッチン(W1500)、手洗い
2	清掃用具庫	4	RC	ビニル床シート	-10	床材立ち上げ	100	GB	耐水ビニルクロス	LGS	化粧石膏ボード	2700	SK、収納棚(W1800)
	廊下	51	RC	ビニル床シート	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	長靴置場、雨具干しスペース、新聞・備品収納棚
	待合スペース	230	RC	置敷きビニル床タイル	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	窓口ロビー		OAフロア(H100)	置敷きビニル床タイル	-110	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	執務室	360	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	共創スペース	32	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	履替スペース	22	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	健診ホール	95	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	手洗い
	相談室-1	6	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	相談室-2	6	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	相談室-3	6	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	相談室-4	7	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	授乳室	7	OAフロア(H100)	ビニル床シート	-110	ビニル巾木	60	GB	耐水ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	おむつ交換台、授乳用ソファ一、手洗い
	ロッカースペース	44	OAフロア(H100)	タイルカーベツト	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	パウダールーム	8	RC	ビニル床シート	-10	SUS HL	60	GB	耐水ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	鏡、パネルヒーター、手洗い、化粧台

■内部仕上表

階	室名	面積	床			巾木		壁		天井			備考
			下地	仕上	躯体 高さ (mm)	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	天井高さ(mm)	
3	窓口ロビー	58	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	サイネージ スライディングウォール、ガラスパーティション
	執務室	412	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	ロビー	47	RC	置敷ビニル床タイル	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	大会議室	101	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	教育長室	30	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	小上がり
	監査事務局	38	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	選挙管理委員会	34	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	健康相談室 兼 休養室	27	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	職員厚生室	30	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	ガラスパーティション ガラスパーティション
	相談室-1	10	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	相談室-2	10	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	記者室	22	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	共創スペース	32	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	ロッカースペース	34	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	物置スペース	9	RC	タイルカーペット	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	廊下-1	13	RC	置敷ビニル床タイル	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
4	廊下-2	9	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	サイネージ スライディングウォール、ガラスパーティション
	廊下-3	12	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	窓口ロビー	58	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	サイネージ スライディングウォール、ガラスパーティション
	執務室	393	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	ロビー	84	RC	置敷ビニル床タイル	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	大会議室	85	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	市長室	42	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	木入巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	ガラスパーティション
	副市長室	31	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	木入巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	市長応接室	72	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	木入巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	秘書係	28	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	待合スペース	19	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装・木ルーバー	LGS	岩綿吸音板	2700	19インチサーバーラック7台、鋼製架台、免震プレート
	共創スペース	32	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	ロッカースペース	35	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	印刷室	30	OAフロア(H100)	帯電防止置敷ビニル床 タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	印刷作業室	56	OAフロア(H100)	帯電防止置敷ビニル床 タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	サーバー室	25	OAフロア(H100)	帯電防止置敷ビニル床 タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
5	相談室	6	RC	タイルカーペット	-10	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	廊下	11	RC	置敷ビニル床タイル	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	スライディングウォール 受付台、キッチン
	議場	258	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	木入巾木	60	GB	網走産木材	—	木ルーバー	4000(一部、3400)	
	議会事務局	67	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	正副議長室・議長応接	35	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	スライディングウォール
	議員控室 兼 議会図書室	83	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	大会議室	76	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	会議室-1(什器倉庫-1)	17	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	会議室-2(什器倉庫-2)	17	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	ガラスパーティション
	会議室-3(什器倉庫-3)	17	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	会議室-4	39	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	会議室-5	28	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	備蓄倉庫-1	10	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	素地	LGS	化粧石膏ボード	2700	
	備蓄倉庫-2	33	OAフロア(H100)	置敷ビニル床タイル	-110	ビニル巾木	60	GB	素地	LGS	化粧石膏ボード	2700	
	書庫	122	RC(一部、鋼製二重床 H100)	合成樹脂塗床	-110	ビニル巾木	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	廊下-1	25	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
塔屋	廊下-2	73	OAフロア(H100)	タイルカーペット	-110	ビニル巾木	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	議場映像サイネージ
	ロビー	56	RC	タイルカーペット	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	EVホール	23	RC	タイルカーペット	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
共通	電気室	78	RC	防塵塗装	-10	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	鏡、パネルヒーター、ライニング、手摺、みんなのトイレ、SK
	発電機室	50	RC	防塵塗装	-10	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	受水槽室	45	RC	防塵塗装	-10	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	各種WC	—	RC	ビニル床シート	-10	SUS HL	60	GB	耐水ビニルクロス	LGS	岩綿吸音板	2700	
	EVホール(2～4階)	—	RC	置敷ビニル床タイル	-10	SUS HL	60	GB	EP塗装	LGS	岩綿吸音板	2700	
	各種倉庫・物品庫・書庫	—	RC	合成樹脂塗床	-10	ビニル巾木	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	機械室	—	RC	防塵塗装	-10	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	PS	—	RC	防塵塗装	-10	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	EPS	—	RC	防塵塗装	-110	床材立ち上げ	100	GB	素地	RC	表し	直天	
	階段室-1	—	RC	置敷ビニル床タイル	-10	SUSHL	100	GB	EP塗装	RC	岩綿吸音板	2700	
	階段室-2	—	RC	タイルカーペット	-10	SUSHL	100	GB	EP塗装	RC	岩綿吸音板	2700	



市道南4条通線

市道東1丁目通線

国道244号

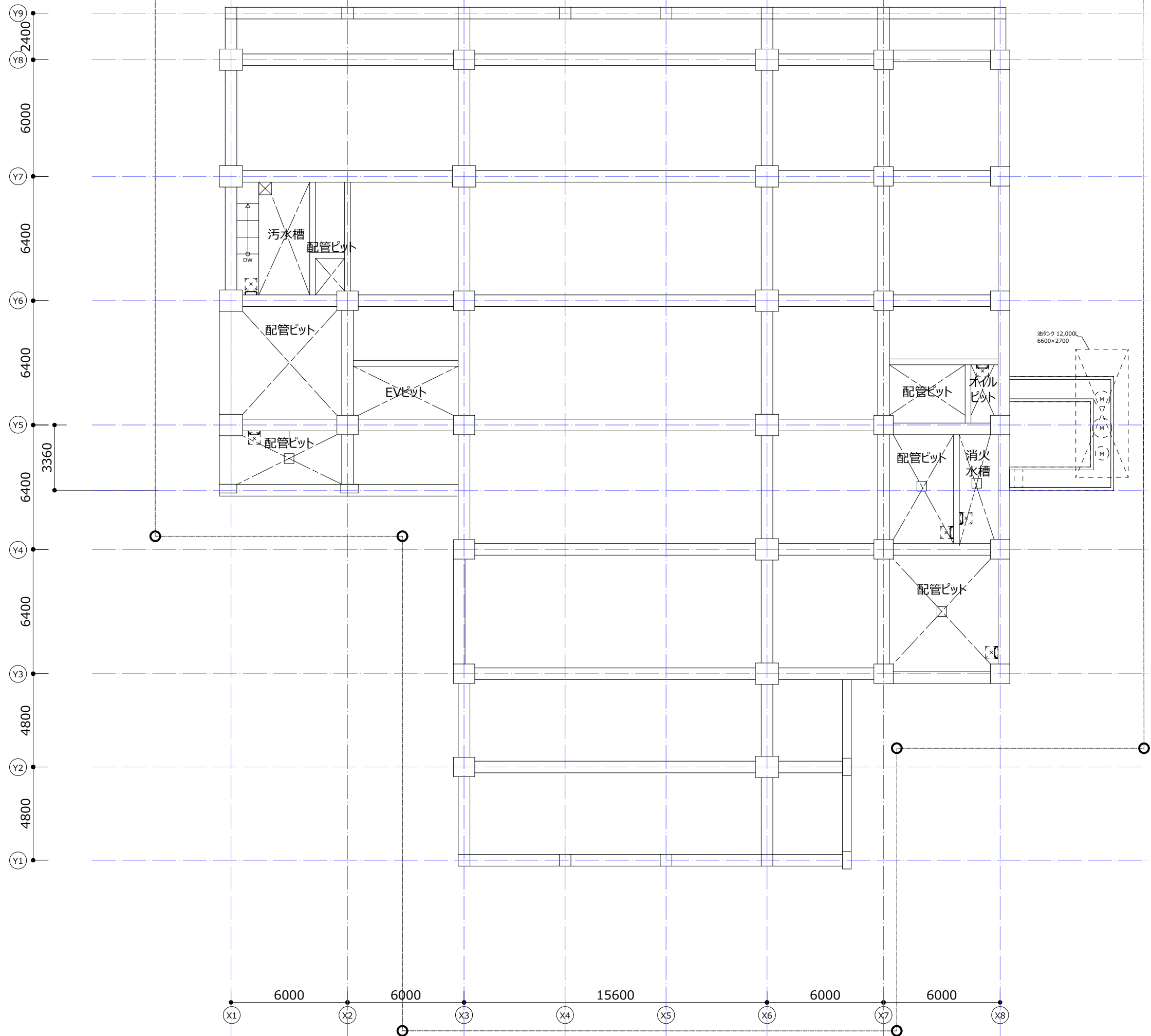
国道244号

都市計画道路18000

Scale: 1/300



配置図



国道244号

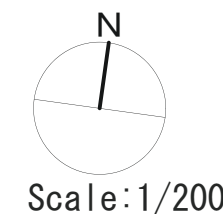
都市計画道路18000

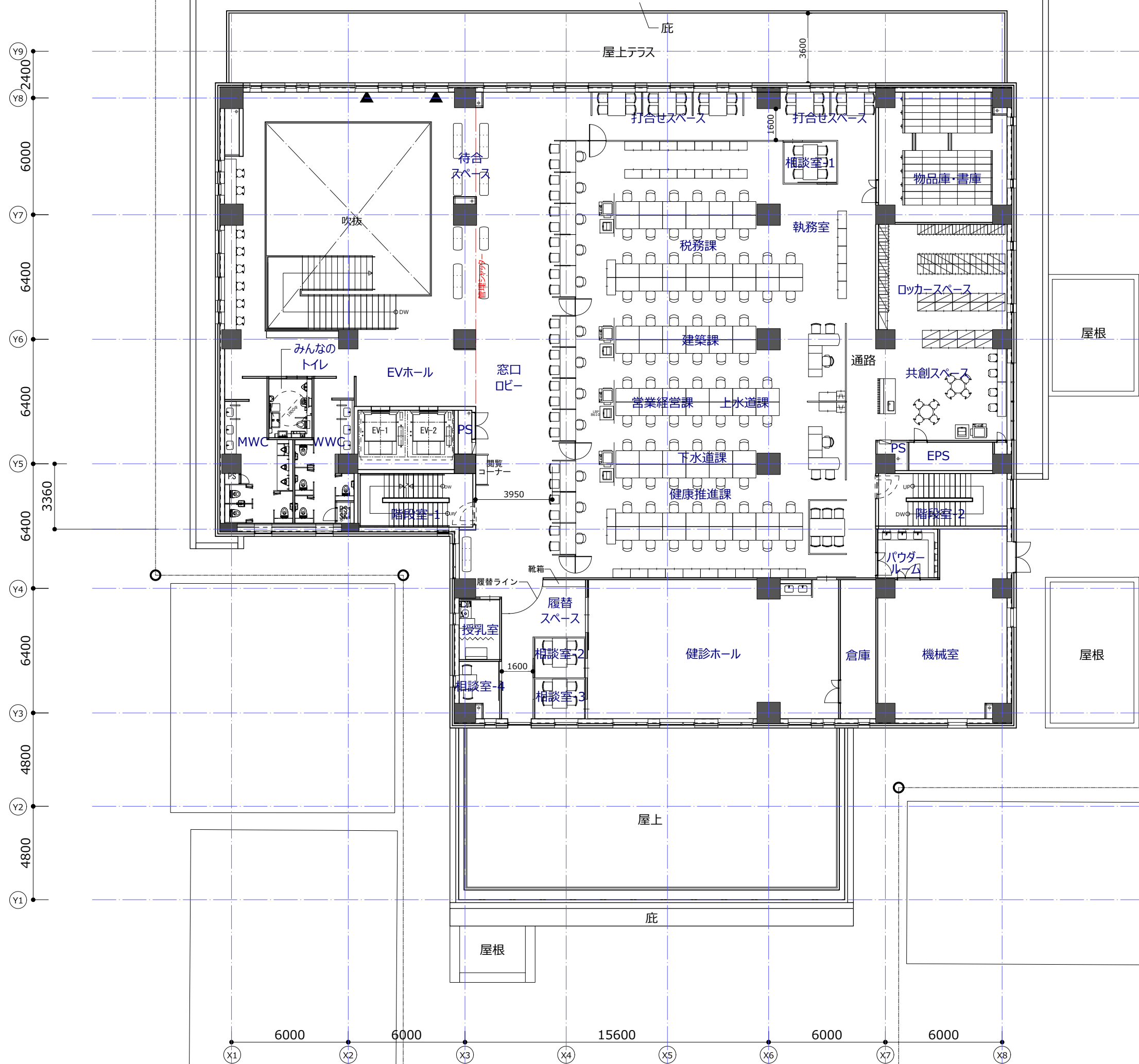
市道東1丁目通線

■ 延床面積：6399m²
(外部：倉庫、ゴミ庫、車庫除く)

■ 1階平面図
床面積：1502m²

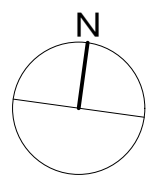
※今後の検討により柱の大きさ・配置や
諸室の配置を変更する場合があります。



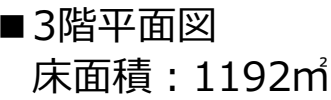


■ 2階平面図
床面積：1127m²

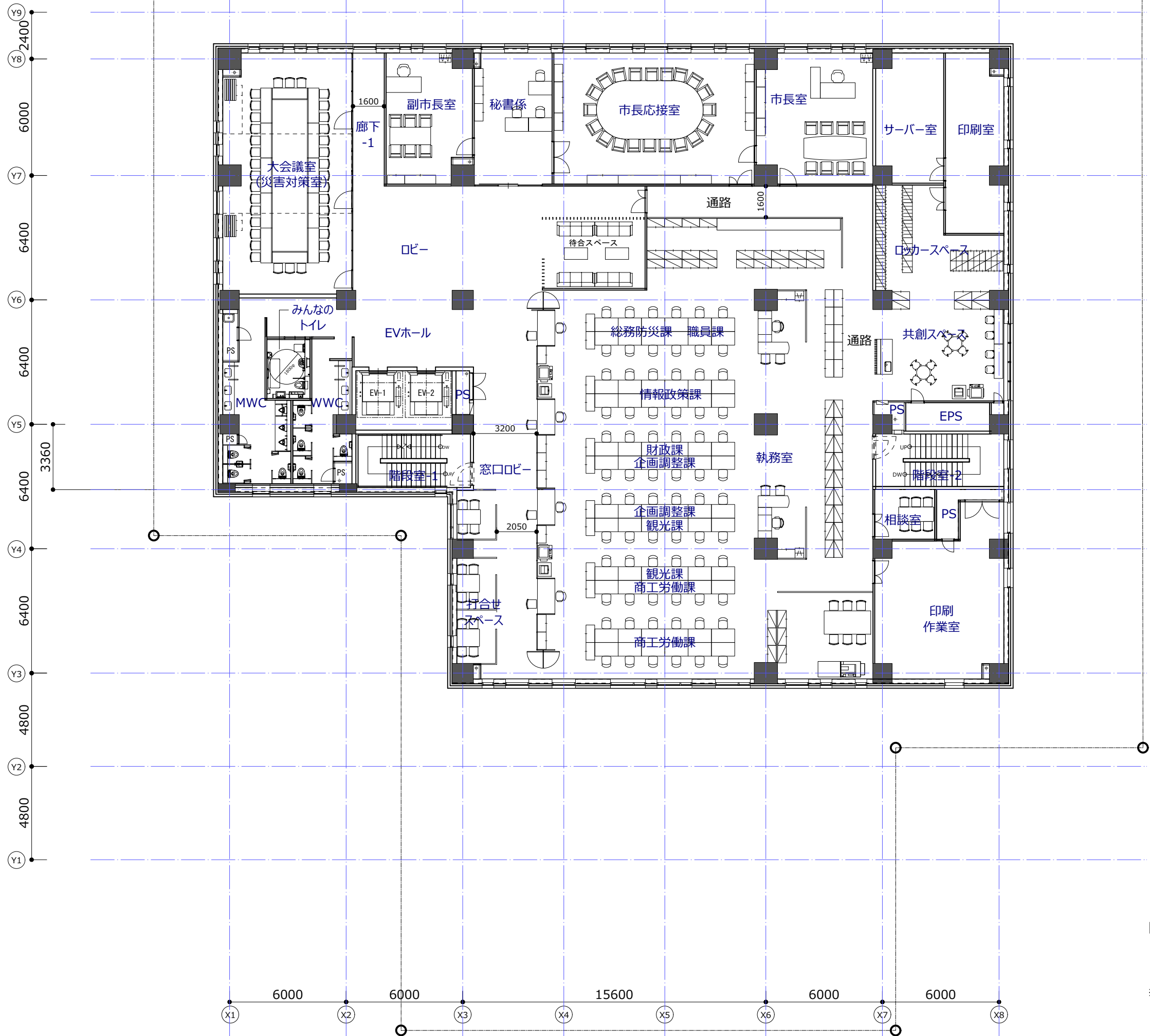
※今後の検討により柱の大きさ・配置や
諸室の配置を変更する場合があります。



Scale: 1/200

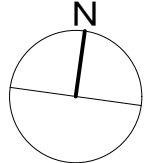


Scale: 1/200

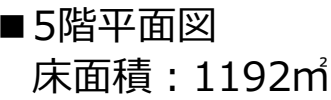


■ 4階平面図
床面積：1192m²

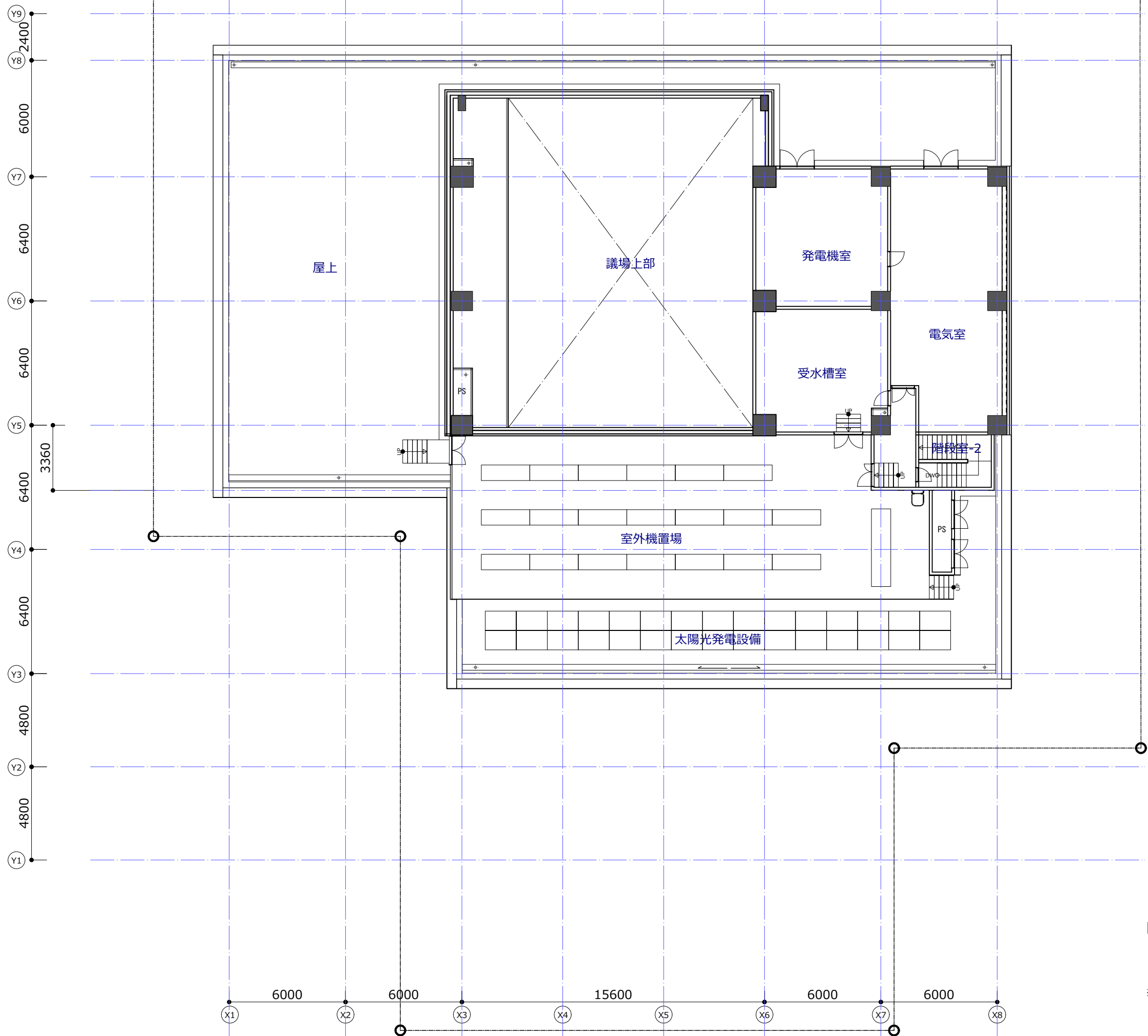
※今後の検討により柱の大きさ・配置や諸室の配置を変更する場合があります。



Scale: 1/200

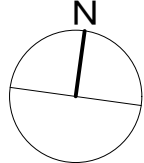


Scale: 1/200

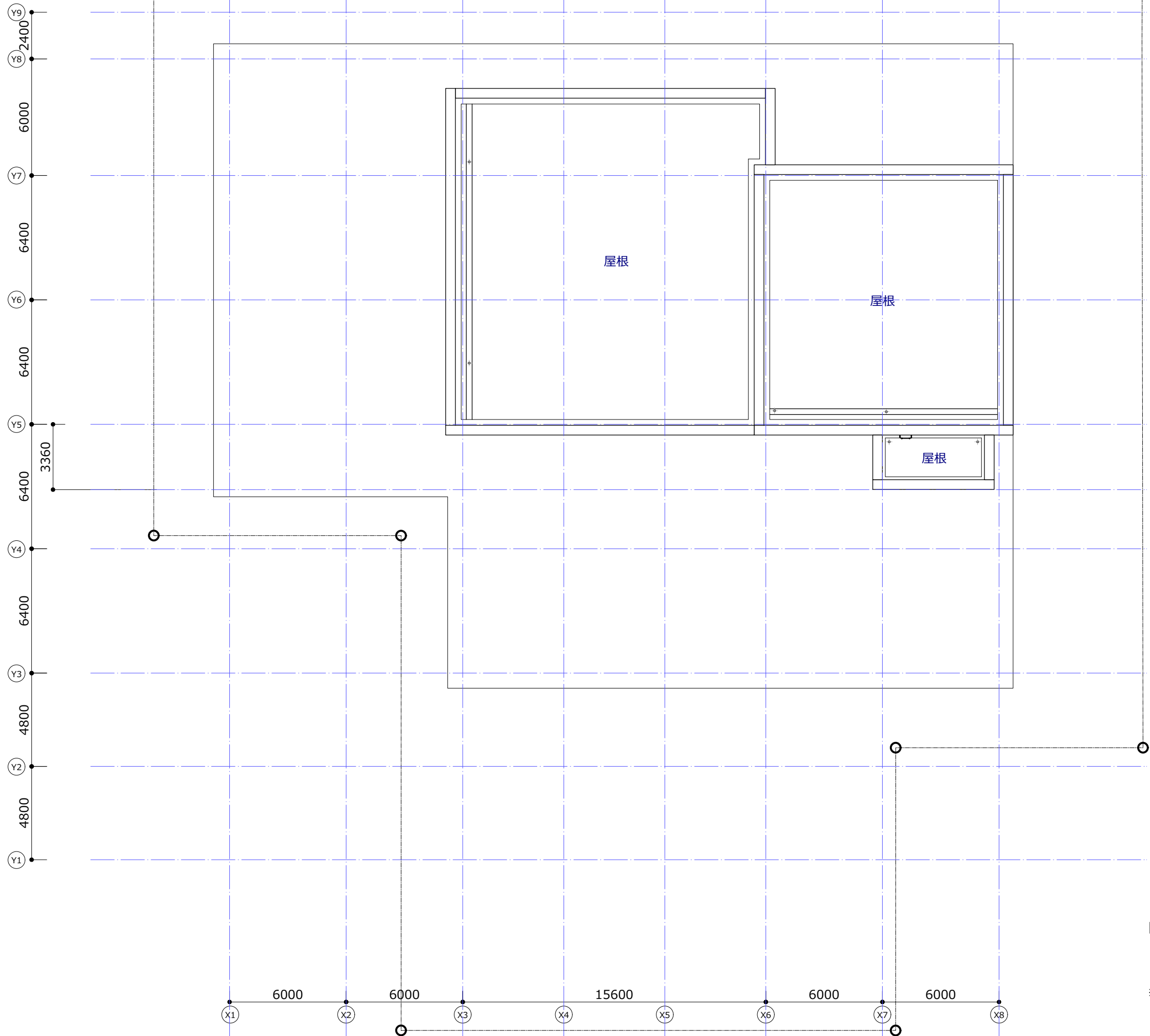


■ 屋上階平面図
床面積：194m²

※今後の検討により柱の大きさ・配置や
諸室の配置を変更する場合があります。

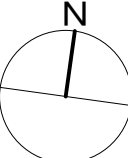


Scale: 1/200

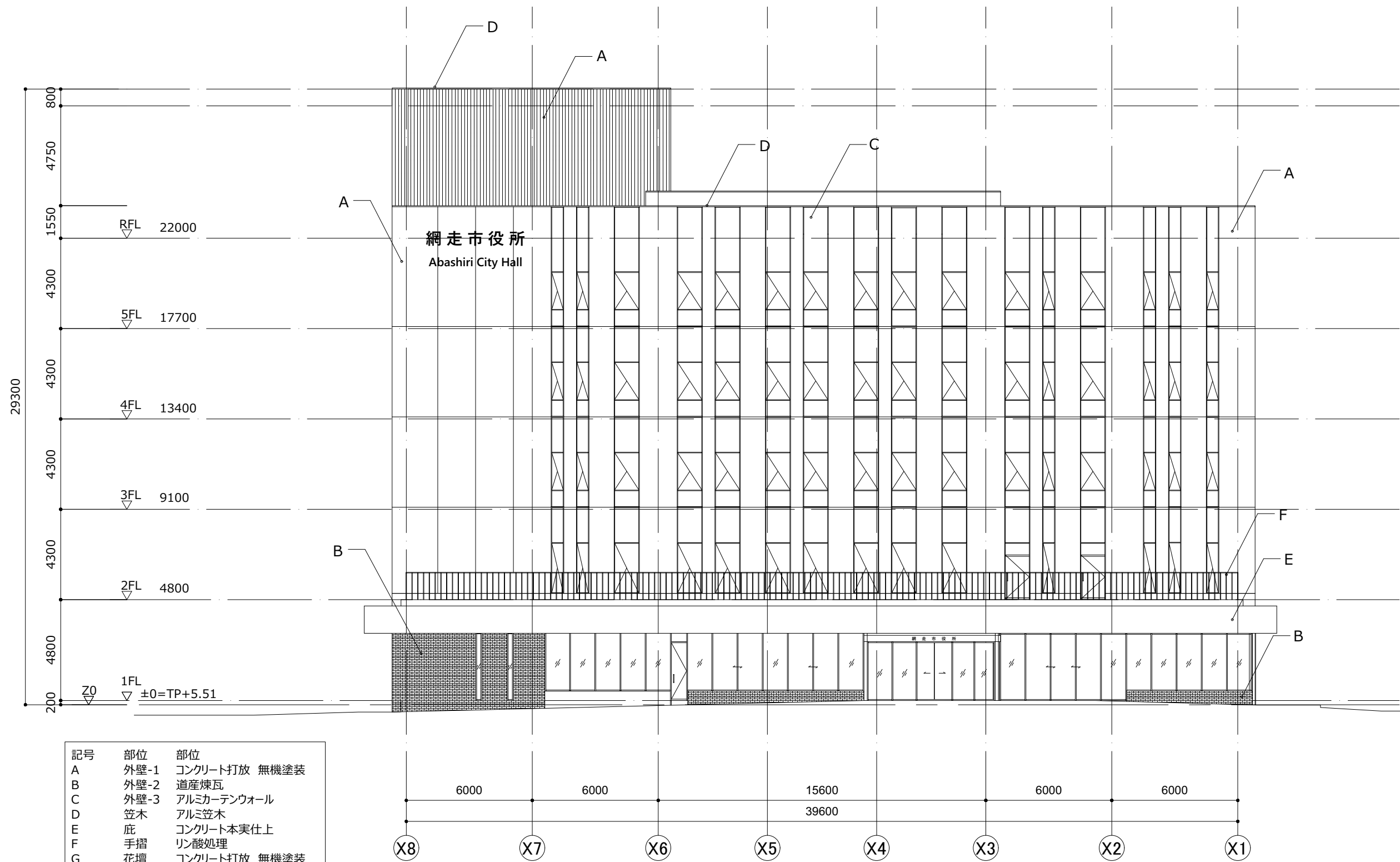


■ 屋根伏図

※今後の検討により柱の大きさ・配置や
諸室の配置を変更する場合があります。



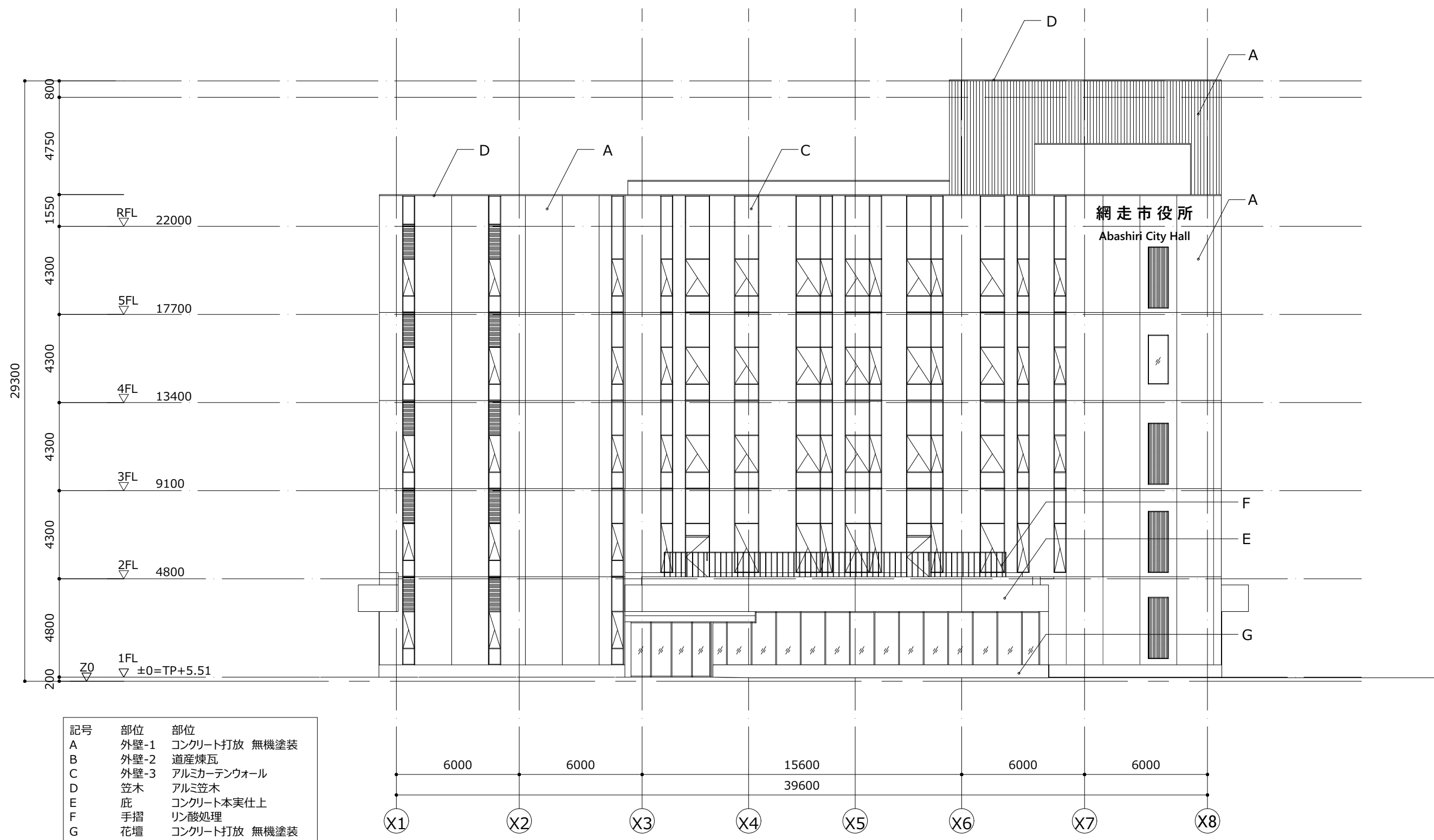
Scale: 1/200



北立面図 Scale : 1/200

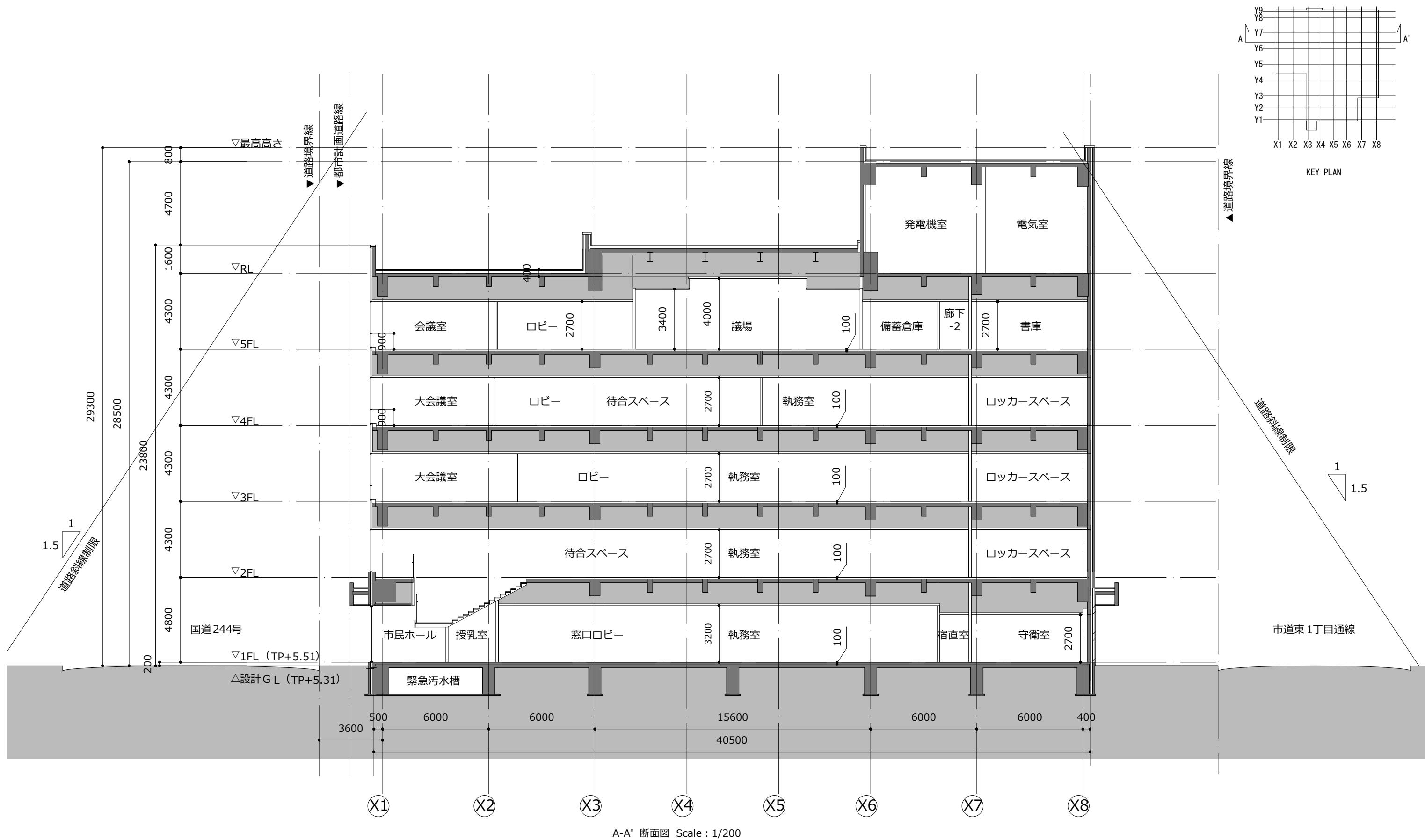


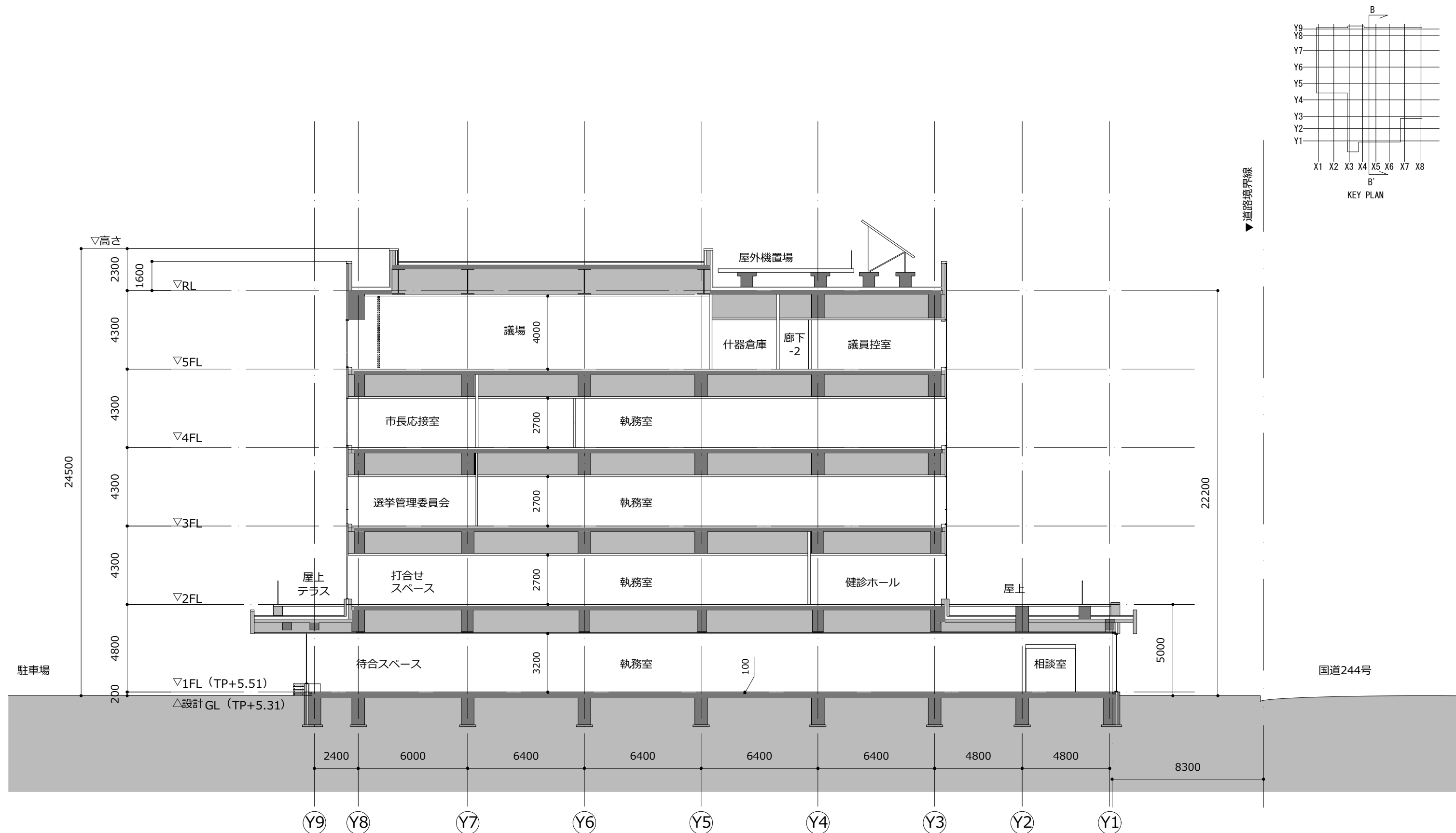
西立面図 Scale : 1/200



南立面図 Scale : 1/200







B-B' 断面図 Scale : 1/200